

仁木町子どもの読書活動推進計画

平成30年度～平成34年度

仁木町教育委員会

目 次

第 1 章 計画策定の背景	1
1 子どもの読書の意義	1
2 国・北海道の動向	1
3 仁木町の動向	2
第 2 章 計画の基本的な考え方	3
1 計画の目的	3
2 方策の指針	3
3 計画の対象	3
4 計画の期間	3
第 3 章 現状と課題	4
1 家庭・地域	4
2 保育所（園）	5
3 学校	5
4 図書室	6
第 4 章 子どもの読書活動推進のための方策	8
1 意識や取組の啓発	8
2 普及の支援	9
3 環境の整備	10
～資料～	
◇ 仁木町子どもの読書活動推進計画にかかる読書アンケート調査集計結果の概要	14
◇ 仁木町「読書アンケート調査」集計結果	16
◇ 第 6 3 回学校読書調査概要	42

第1章 計画策定の背景

1 子どもの読書の意義

子どもの読書活動は、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、その中で「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」として社会全体でその推進を図っていく必要があるとされました。

ソーシャルメディアの普及や家庭や生活形態の変化など子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっています。その影響を受け幼児期からの読書習慣の未形成等を背景とした今日の子どもの読書離れは、憂慮すべき状態であり、社会全体で子どもの読書活動の一層の推進を図る必要があります。

全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にその環境づくりを進め、次世代を担う人材を育てるための施策を総合的かつ計画的に進めることが必要です。

2 国・北海道の動向

(1) 国の動向

平成12年の「子ども読書年」を契機に、子どもの読書活動を推進する超党派の議員による「子どもの読書活動振興法案作成プロジェクト」が設置され、平成13年12月に「全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」ということを基本理念とした「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました。この法律で都道府県及び市町村は、「子どもの読書活動推進計画」を策定するよう努めることとされました。

国は、平成14年8月に「第1次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を、平成20年3月には第2次計画を、平成25年5月には第3次計画を、平成30年3月には第4次計画を策定しています。

この間、平成17年に「文字・活字文化振興法」が制定され、平成18年に教育基本法の改正、平成20年には社会教育法及び図書館法の改正、子どもの読書活動の推進に関する法律の改正が行われました。

さらに、平成20年6月の国会において、平成22年を「国民読書年」と定め、読書環境の整備を進めています。

(2) 北海道の動向

北海道では、国の法律に基づき、平成15年11月に「第1次北海道子どもの読書活動推進計画」を策定しています。平成20年3月に第2次計画「次代を担う子どもの心を育む北の読書プラン」、平成25年3月に第3次計画「生きる力を育む北の読書プラン」、平成30年3月に「第4次北海道子どもの読書活動推進計画」を策定し、計画に基づき読書普及活動を進めています。

3 仁木町の動向

昭和40年12月に開館した児童会館に図書室を設置し、図書の貸出を行ってききましたが、平成11年10月、役場庁舎新築に伴い併設された仁木町民センター内に図書室の機能を移管しました。

現在、仁木町民センター・図書室の蔵書冊数は約1万5千冊、そのうち概ね4割となる約6千冊が児童書となっています。また、町内小中学校に配本するサービスや子ども向けの椅子やテーブルを配置したスペースを設け、子どもたちの読書を推進しています。

加えて、大江地区地域文庫図書室（大江コミュニティセンター内）と銀山地区地域文庫図書室（銀山郵便局内）を設置し、仁木町民センターから離れた地域でも図書の貸出を行っています。

昭和56年4月に銀山母と子の読書会、昭和57年1月に読書サークル兎の眼、平成2年3月に大江読書サークルが結成され、各地域における読書活動を推進しています。

その他、平成16年度からほけん課及び読書サークルと連携し、6か月と1歳6か月時の乳幼児健診の機会を活用した、絵本の読み聞かせと絵本贈呈を行う「ブックスタート事業」、平成28年度から北海道立図書館及び学校、読書サークルと連携し、子どもたちに本の選び方の説明や読み聞かせを通じて本に親しんでもらう「学校ブックフェスティバル事業」を実施しています。

第2章 計画の基本的な考え方

1 計画の目的

町は、子どもたちが読書を通して健やかに成長し、より良い読書習慣を身に付けてもらうことを目的とした「仁木町子どもの読書活動推進計画」を策定します。

子どもの読書活動の現状分析を行い課題解決に向けた目標を定め、地域社会全体で取り組むための具体的な施策を示すべく、これからの子どもの読書活動の推進に向けた基本計画となるものです。

また、国の法律に基づき、国・北海道の計画を踏まえ、「第5期仁木町総合計画」や「第8期仁木町社会教育中期計画」との整合性を図り、子どもの読書活動に関する考え方や方針について示します。

2 方策の指針

地域の実情を踏まえ、子どもたちの読書活動を推進するため、次の指針を設定します。

- (1) 意識や取組の啓発 ～子どもを読書好きにするための活動の推進～
- (2) 普及の支援 ～子どもの読書活動推進への理解と関心の普及～
- (3) 環境の整備 ～仁木町民センター・図書室等や学校図書室の読書環境充実～

3 計画の対象

本計画は、0歳から15歳までを対象とします。

4 計画の期間

平成30年4月から平成35年3月までの5年間とします。

第3章 現状と課題

1 家庭・地域

家庭は、幼い子どもたちが本に触れ、言葉や絵に対する興味や関心を持ち、知識や想像力を養う重要な役割を担っています。保護者の読み聞かせなどを通して愛情や信頼そして安心を感じ、安定した精神状態の中で良い人間関係を学んでいきます。

しかし、核家族や共働き世帯の増加などから家族の在り方や生活スタイルが変化しています。少子化や地域社会のつながりの希薄化、情報化社会が、子どもを取り巻く環境に大きな影響を与えていると指摘されています。

保育所（園）の保護者アンケート調査では、家庭において「子どもに絵本等を読んでいる」は96%で、「何歳くらいからか」では1歳までに90%が読み聞かせを行っています。また、98%が「本に親しむことは大切」と回答しており、子どもへの読書の必要性を感じていることが分かります。しかし、「夕食後に家庭で過ごす時間のうち、一番多いのは」ではテレビを見るとの回答が76%と圧倒的に多く、本を読むことは少ないのが現状です。

家庭では、子どもの健やかな成長のため「家読」（※1）を積極的に取り入れることを薦めます。保護者が読書に親しむ姿を見せたり、優しい声で読み聞かせや家族で図書室へ出向いたりするなど本に親しむきっかけを作ることが望まれます。

また、家族で本を読む時間を持つことや本を話題にすることなど、家族間のコミュニケーションの1つとして本を活用し、本に親しむ経験を積み重ねることで生涯にわたる読書習慣の基礎づくりになると考えます。

アンケート調査で「仁木町民センター・図書室に行かない」人は、55%と高い結果となっており、親子で出かけたくなるような図書室環境の整備や工夫とPRが必要です。

家庭で子どもに読書を勧めていくのは母親だけの役割ではなく父親及び祖父母と地域が関わりながら、子どもが本に親しめる環境を作っていくことも重要です。

※1 家読（うちどく）：家庭での読書を通して、家族のコミュニケーションを図ろうという取組のこと。北海道教育委員会では、平成23年度から「朝読・家読運動」を実施している。

2 保育所（園）

保育所（園）は、子どもが家庭から離れて先生や友だちと過ごし、様々な遊びを通して社会性を身に付け、新たな成長を遂げる場所の1つです。

保育士や友だちと一緒に絵本や物語を楽しみ、イメージを共有する一体感などを経験しながら、本への興味や関心が持てるようになり、感性が育ち、人への愛情や信頼感を学んでいきます。

保育所（園）及び地域子育て支援拠点の4か所へのアンケート調査によると、全ての施設で絵本コーナーなどを設け、ほぼ毎日読み聞かせや紙芝居を行うなど読書活動に取り組んでいることが分かります。

また、「読み聞かせをすることは大切だと思いますか」との問いでは、全ての施設で「非常に大切だと思う」と回答しています。保育所（園）等での読み聞かせが、本に親しむ幼児の育成に大きな影響を与えることが理解されていると考えます。

今後も、本を楽しむ、たくさんの本と出会うことができるような活動を積極的に支援し、保育所（園）等と協力しながら、引き続き保護者に対して読み聞かせ等の大切さや意義を広く普及していくことが重要と考えます。

3 学校

学校では、国語などの学習活動を通じて読書活動が行われており、文字や知識の習得のみならず、読書習慣を形成する大きな役割を担っています。

読書は、自分で考え、その考えを広げ深める力を育てます。子どもたちが成長し、生涯にわたって読書に親しみ、読書を通して豊かな人生を送ることができるための土台となります。

小学校2校、中学校2校の小学3年生・小学5年生・中学2年生へのアンケート調査では、「あなたは本を読むのが好きですか」に対して小学3年生の96%、小学5年生の96%、中学生の76%が「好き」、「まあまあ好き」と回答しており、多くの児童生徒が読書の魅力を認識していることが分かります。

また、「1か月で本を何冊読みましたか」には1冊も読んでいない児童生徒は、小学3年生で9%、小学5年生で12%、中学2年生で29%でした。これは平成29年全国調査（全国学校図書館協議会・毎日新聞社共同調査）結果の小学生5.6%、中学生15%と比較すると仁木町の児童生徒のうち全く本を読まない、いわゆる不読（※2）の割合が、とても高い状況であることが分かります。

学校へのアンケート調査では、「学校の図書室の利用状況について」全ての学校

が「よく利用されている」または「利用されている」と回答しており、その理由に「本がたくさんある」「読みたい本がある」を挙げています。

しかし、児童生徒への同様のアンケート調査からは、小学3年生の26%、小学5年生の48%、中学生の53%が「行かない」、「ほとんど行かない」と回答しており、その理由に「読みたい本がない」を挙げており、学校の認識とのギャップが高い不読率の要因になっていると推測されます。

学校では、全校一斉読書や読み聞かせ、朝読（※3）、学校ブックフェスティバル事業など、積極的に読書に係る活動やイベントを実施していますが、今後も継続しながら読書をする機会を増やしていくことが重要です。

また、読書への関心を高めるため学校図書館等において教職員が読ませたい本だけでなく、小中学生の興味を考慮した本の充実と情報を発信していくことも不読率軽減に効果的であると考えます。

※2 不読（ふどく）：全国学校図書館協議会と毎日新聞社共同調査が行っている全国の小学4年生から高校生までを対象にした「学校読書調査」の中で、1か月に全く本を読まなかったことを言う。また、その割合を不読率と言う。

※3 朝読（あさどく）：学校等での朝の一斉読書を通して、読書をする習慣を身に付けてもらう取組のこと。北海道教育委員会では、平成23年度から「朝読・家読運動」を実施している。

4 図書室

図書室は、子どもたちが学校外の環境で読みたい本を選び、読書を気軽に楽しむことができる場所です。

仁木町民センター・図書室は、平成11年10月の開室以来、蔵書の充実を図り「心やすらぐ空間」として大人だけではなく子どもたちも本に親しめる環境整備に努めています。多数の絵本や漫画なども備えるほか、子ども向けの椅子やテーブルを配置したスペースを設けるなど、子どもたちが気軽に利用したくなる図書室を目指しています。

また、読書サークル等が利用できるよう大型絵本も揃え、町内小中学校に配本するサービスも行い、子どもたちの読書を推進しています。

仁木町民センターから離れた地域でも気軽に図書を借りることができる大江地区地域文庫図書室（大江コミュニティセンター内）と銀山地区地域文庫図書室（銀

山郵便局内) についても蔵書を増やし、地域文庫を活用している各読書サークルとの連携を図りながら、読書に親しむための環境を充実していく必要があります。

児童生徒と保護者へのアンケート調査では、「町の図書室へ行きますか」に対して小学3年生の39%、小学5年生の48%、中学生の76%、保護者の55%が「行かない」と回答しており、図書室へ足を運んでもらえるよう呼びかけと一層の工夫に努めることが重要です。

また、「図書室にあると良いと思うものは何ですか」の問いには、「子どもが声を出しても迷惑にならないスペース」、「子どものオムツ替えスペース」「知育玩具や乳幼児が座れるイス」など子育て世代が利用しやすい環境づくりへの要望や「雑誌コーナー」、「カフェスペース」などのくつろげる環境、「紙芝居」、「読み聞かせ」などのイベント開催、他にも多様な回答があり、これらを図書室環境整備の参考にすることが大切と考えます。

学校へのアンケート調査の中には、仁木町民センター・図書室を調べ学習に活用するためには蔵書データをネットワーク化して、学習に必要な本の有無が学校のパソコンからも検索できればよいとの意見もあり、さまざまなニーズに応えられるようサービスの充実を図りながら、子どもの読書活動を進めなければなりません。

* 仁木町民センター・図書室及び地域文庫図書室の状況（平成29年度実績）

(1) 仁木町民センター・図書室

蔵書冊数 (人口3,304人)

総数	児童書	一般書	町民一人当たり
15,147冊	6,093冊	9,054冊	4.58冊

貸出冊数

総数	児童書	一般書	町民一人当たり
3,553冊	808冊	2,745冊	1.07冊

(2) 地域文庫図書室

地区名	蔵書冊数	貸出冊数
大江地区 (大江コミュニティセンター内)	481冊	153冊
銀山地区 (銀山郵便局内)	289冊	124冊

第4章 子どもの読書活動推進のための方策

1 意識や取組の啓発 ～子どもを読書好きにするための活動の推進～

子どもが読書をするのが好きになるためには、読書に親しむきっかけを作り、読書の楽しさや面白さを伝え、読書習慣を身に付けてもらうことが必要です。

子どもの読書に対する興味や能力は、心身の発達段階に関係していると言われています。成長段階に応じた取組が大切です。

【主な方策】

- ブックスタート事業
- 「家読」、「朝読」の推進
- 年齢に応じた本の紹介や読書の楽しさを伝える情報発信
- 保育所（園）や学校と連携した本に親しむ活動の推進
 - 紙芝居及び大型絵本、しかけ絵本などを活用するなどの事業等
- 本に親しむきっかけづくりの推進
 - 親子で楽しむ読み聞かせ事業等
- 本を楽しむことの推進
 - 本の内容とそれに関する体験を融合させた事業等
(絵本に登場するメニューを調理するなどの事業等)
 - アニマシオン（※5）を応用した事業
(絵本の内容に関するクイズやゲームなどを楽しむ事業等)
 - ブックトーク（※6）事業
(あるテーマに関する本を楽しく紹介するプレゼンテーションなどの事業等)
- 外国語で本を楽しむ事業
 - 外国語指導助手を活用した事業等

※5 アニマシオン：読書をゲームとして楽しみながら読解力及び表現力、コミュニケーション力を育てる読書指導法。

※6 ブックトーク：一定のテーマを立てて、一定時間内に複数の本を聞き手に紹介すること。目的は「本の内容を教える」ことではなく、本の面白さを伝え、本を読みたいという気持ちを引き出すこと。

2 普及の支援 ～子どもの読書活動推進への理解と関心の普及～

子どもの読書活動推進のためには、その意義や重要性について、町民への理解を広め関心を深めることが大切です。大人自身が読書に対する理解や関心が薄ければ、子どもたちへ読書の魅力を伝えることは難しくなります。

大人が日常的に本を読む姿を見せることで、子どもたちに「読んでみたい」という気持ちを芽生えさせることができます。子どもを困む身近な大人が読書の重要性を認識することが、子どもの読書推進に欠かせません。

また、学校や読み聞かせ団体、関係機関等との連携を進め、地域全体で推進する体制の整備が必要です。

【主な方策】

- 「子ども読書の日（※7）」、「こどもの読書週間（※8）」などの啓発
- 読書体験、読書感想文コンクールの推進
- 保育所（園）及び学校、地域の読書サークルや団体等との連携と支援
- 子どもの読書推進に対する保護者や地域の大人への啓発
 - お父さんと本を読もうキャンペーン事業等
- 大人が楽しむ読書活動の推進
 - ワイン等をテーマにした読書講座等
- 仁木町民センター・図書室への図書リクエスト数の強化
 - 学校、地域の読書サークル、保育所（園）等からのリクエストを推進

※7 子ども読書の日：子ども読書の日は、毎年4月23日。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」によって制定したもの。

※8 こどもの読書週間：こどもの読書週間は、毎年4月23日から5月12日まで。社団法人読書推進運動協議会が幼少の頃より書物に親しみ、読書の喜びを身に付けてほしいという趣旨のもとに制定したもの。

3 環境の整備 ～仁木町民センター・図書室等や学校図書室の読書環境充実～

図書室は、子どもの読書活動の推進に対して大きな役割を担う施設です。蔵書の充実を図り、子どもが利用しやすい工夫を進め、「心やすらぐ空間」とすることが大切です。

<仁木町民センター・図書室>

来室した子どもたちが、図書室を好きになってもらい、そこから本を好きになってもらうことができるような取組や工夫が重要です。

また、レファレンス（※9）や選書、本の紹介や読書活動推進のための事業展開、学校の読書活動や調べ学習の支援などの図書室機能充実を図るために、専門的知識を持つ司書の配置も今後検討する必要があると考えます。

【主な方策】

- 司書の配置検討
- 魅力のある図書資料の充実と整備
- 配架や展示の工夫
- 仁木町民センター・図書室から小中学校への図書貸出サービスの活用促進
- 地域の読書サークルや団体・北海道立図書館等との連携と協力
- 学校図書室の運営等に対する支援や情報交換
- 利用者が自分で蔵書検索ができるシステムの導入
- 書籍購入頻度の増加
 - リクエストにすぐに応えるための図書購入方法の検討等
- 子どもが利用しやすい環境づくり
 - 子どもが声を出しても、遊んでもよいとする図書室ルールの検討等
- 読書手帳（※10）の導入

※9 レファレンス：図書に関する様々な質問に対して必要な資料や情報等を提供し、課題解決の支援を行うサービスのこと。

※10 読書手帳：図書館（室）利用促進のツール。借りた本を記録し、増やしていくことで読書意欲や充実感を高める効果がある。

<学校図書室>

児童生徒が日常的に読書を楽しむことができる場所であるとともに、読書活動や読書指導の場として、児童生徒の成長を支える重要な役割を担っています。

また、昼休みや放課後など本を読んだり、興味のある事柄を調べたり、考え事をするなど自由に過ごすことができる「心の居場所」としての機能もあります。

加えて、年齢に応じた本の紹介や選書など学校における読書活動推進を図るため、専門的知識を持つ学校司書の配置も今後検討する必要があると考えます。

【主な方策】

- 学校司書の配置検討
 - 仁木町民センター・図書室司書との兼任
- 年齢に応じた図書の充実や情報提供
- 読書手帳の導入検討
 - 仁木町民センター・図書室と連携した読書手帳の検討等
- 配架や展示の工夫
- 読書体験、読書感想文コンクールに関する情報提供や支援
- 地域の読書サークルや団体・北海道立図書館等との連携と協力
- 学校図書室の運営等に関する情報交換

資 料

仁木町子どもの読書活動推進計画にかかる読書アンケート調査集計結果の概要

1 読書アンケート調査の目的

仁木町子どもの読書活動推進計画（平成30年度～平成34年度）を策定するにあたり、子どもたちの読書実態の把握や読書に関する興味・関心の度合い、幼児期からの本との関わりや保護者の方の考え方、読書施設の利用状況などを調査して参考資料とするために実施。

2 調査年度

平成29年度

3 調査対象

- ・ 町内の小学校3年生、5年生及び中学校2年生
- ・ 学校図書室担当者（小学校2・中学校2）
- ・ 町内の保育所（園）に通っている子どもの保護者及び施設職員（保育所2・保育園1・地域子育て支援拠点1）

4 回収率

対 象	対象数	回答数	回収率
小学校3年生	23人	23人	100.0%
小学校5年生	25人	25人	100.0%
中学校2年生	24人	21人	87.5%
学校図書室担当者	4校	4校	100.0%
保育所（園）保護者	67世帯	55世帯	82.1%
保育所（園）等職員	4施設	4施設	100.0%

5 主な調査結果

質問事項	対 象	好き	まあまあ好き	嫌い
あなたは本を読むのが好きですか？	小学3年	57%	39%	4%
	小学5年	44%	52%	4%
	中学2年	48%	28%	24%

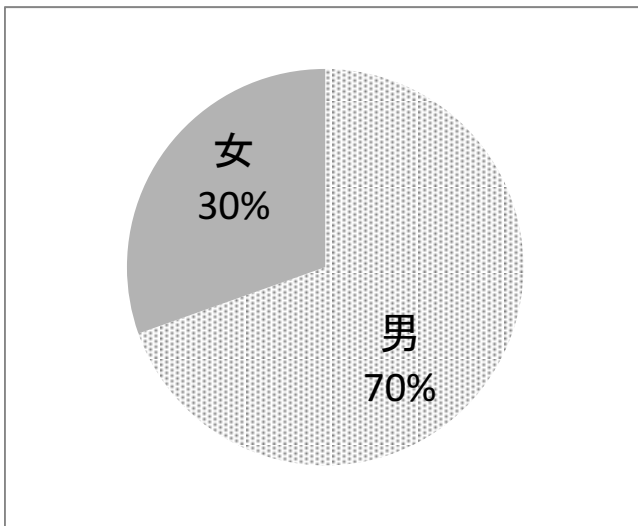
質問事項	対 象	1～2冊	3～5冊	6冊以上	読まなかった
この1か月で何冊くらい本(教科書、マンガ、雑誌以外)を読みましたか？	小学3年	4%	26%	61%	9%
	小学5年	24%	32%	32%	12%
	中学2年	33%	29%	9%	29%

質問事項	対 象	よく行く	ときどき行く	行かない
町の図書室へ行きますか？	小学3年	9%	52%	39%
	小学5年	4%	48%	48%
	中学2年	10%	14%	76%
	保育所(園) 保護者	9%	36%	55%

質問事項	対 象	よく行く	ときどき行く	ほとんど行かない	行かない
休み時間や放課後に学校の図書室へ行きますか？	小学3年	26%	48%	22%	4%
	小学5年	12%	44%	24%	20%
	中学2年	14%	33%	24%	29%

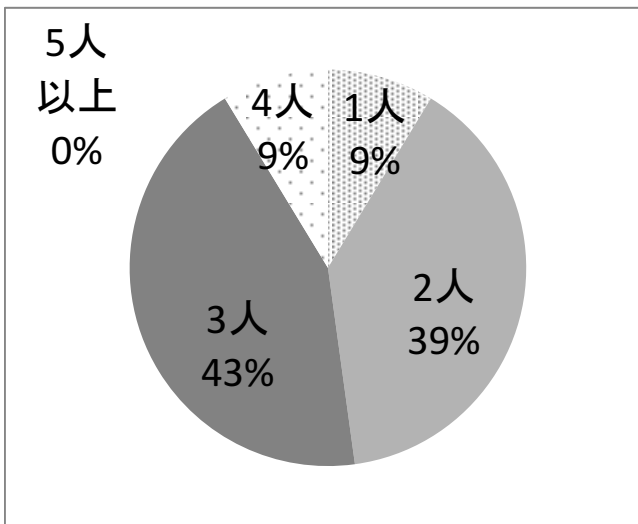
仁木町「読書アンケート調査」集計結果 <小学校3年生>

問1 あなたの性別は？



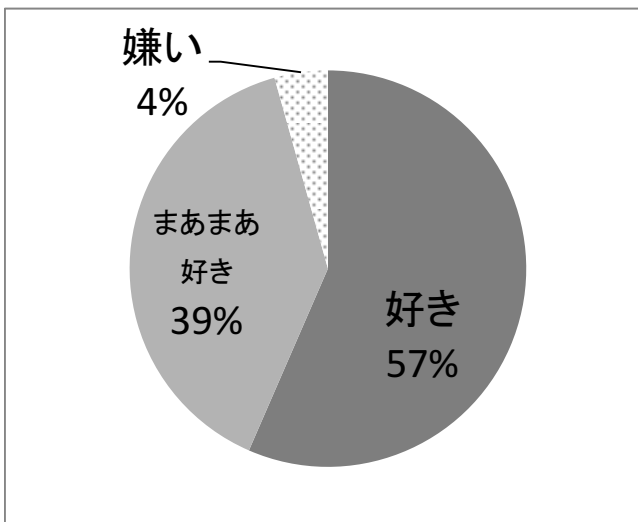
男	16
女	7

問2 あなたは何人きょうだいですか？



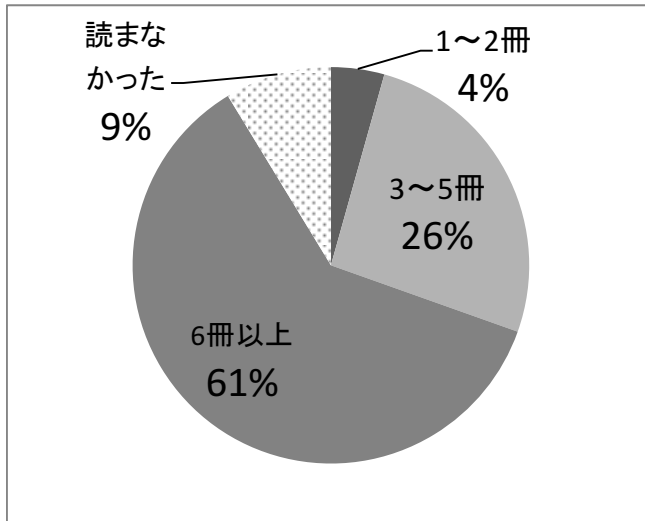
1人	2
2人	9
3人	10
4人	2
5人以上	0

問3 あなたは本を読むのが好きですか？



好き	13
まあまあ好き	9
嫌い	1

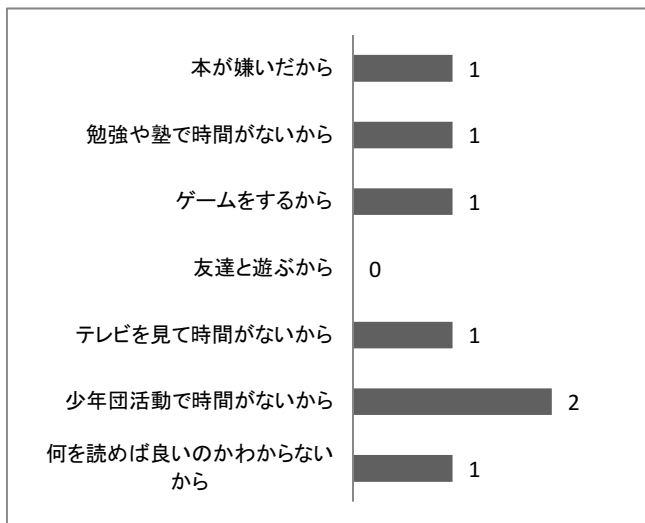
問4 この1か月で何冊くらい本（教科書、マンガ、雑誌以外）を読みましたか？



1冊～2冊	1
3冊～5冊	6
6冊以上	14
読まなかった	2

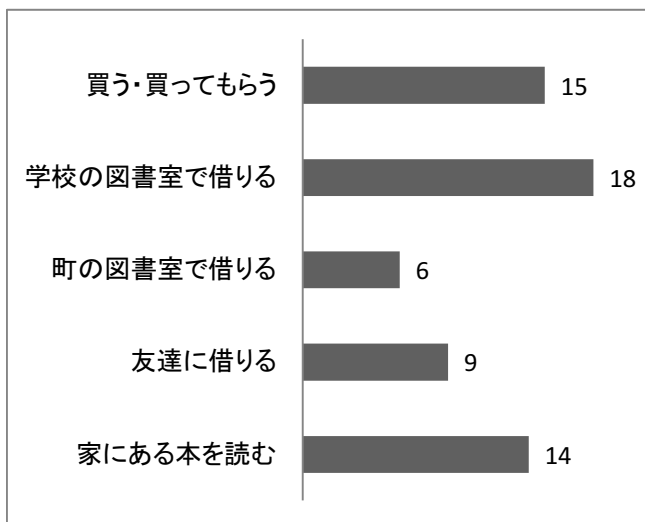
問5 問4で「読まなかった」と答えた人だけにお聞きします。

読まなかったのはなぜですか？（いくつでも）



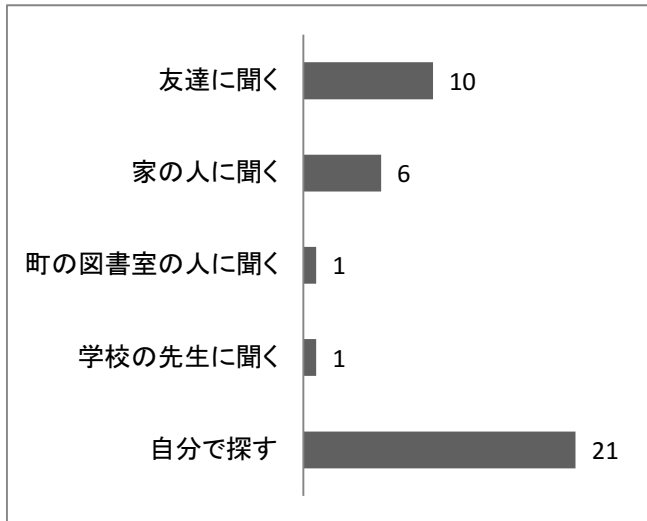
本が嫌いだから	1
勉強や塾で時間がないから	1
ゲームをするから	1
友達と遊ぶから	0
テレビを見て時間がないから	1
少年団活動で時間がないから	2
何を読めば良いのかわからないから	1

問6 読みたい本はどのように手に入れますか？（いくつでも）



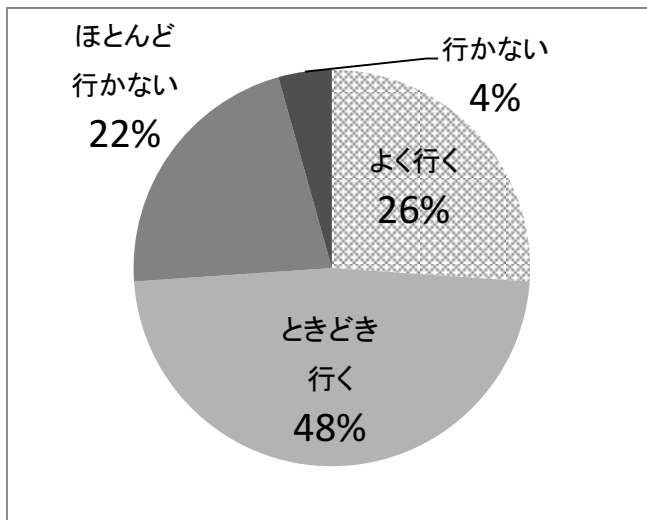
買う・買ってもらう	15
学校の図書室で借りる	18
町の図書室で借りる	6
友達に借りる	9
家にある本を読む	14

問7 読みたい本をどのように見つけますか？（いくつでも）



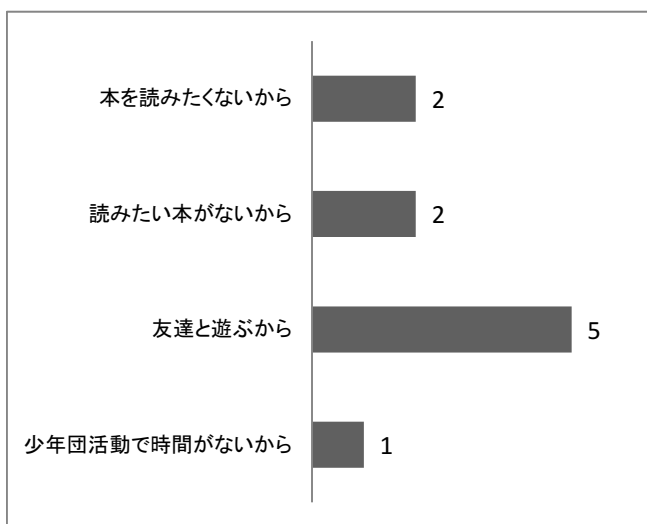
友達に聞く	10
家の人に聞く	6
町の図書館の人に聞く	1
学校の先生に聞く	1
自分で探す	21

問8 休み時間や放課後に学校の図書室へ行きますか？



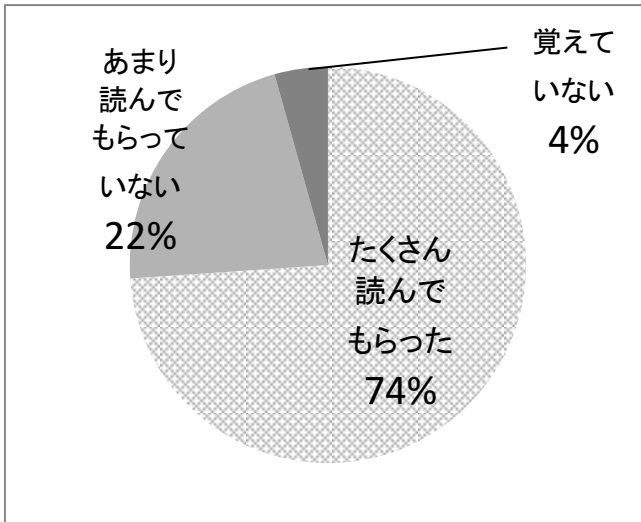
よく行く	6
ときどき行く	11
ほとんど行かない	5
行かない	1

問9 問8で「ほとんど行かない」「行かない」と答えた人にだけお聞きします。学校の図書室へ行かないのはなぜですか？（いくつでも）



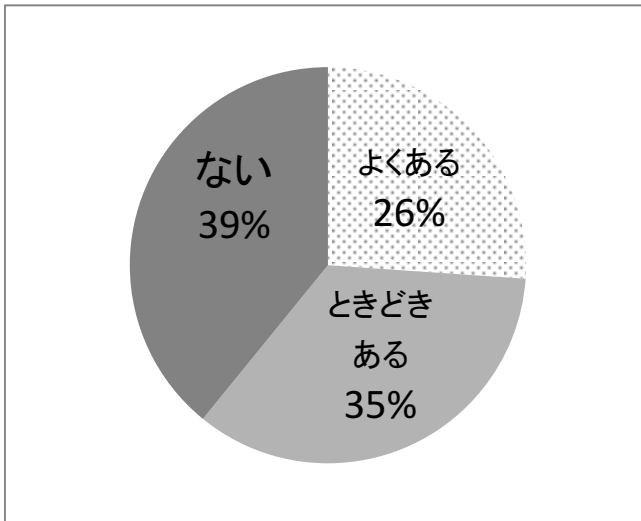
本を読みたくないから	2
読みたい本がないから	2
友達と遊ぶから	5
少年団活動で時間がないから	1

問10 絵本の読み聞かせなどをしてもらったことはありますか？



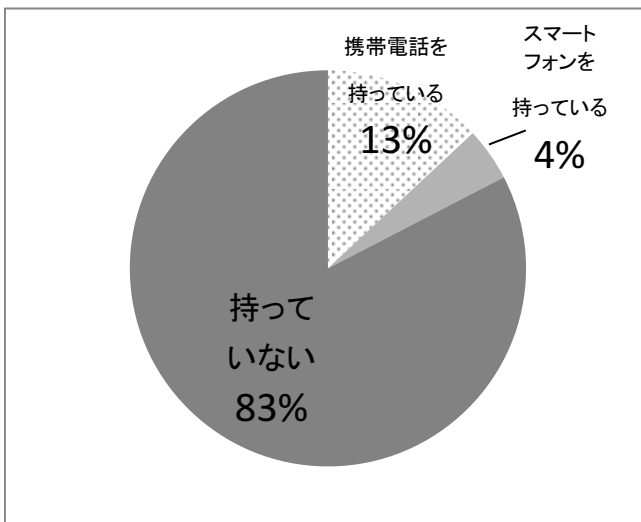
たくさん読んでもらった	17
あまり読んでもらっていない	5
覚えていない	1

問11 家で本について話題になることはありますか？



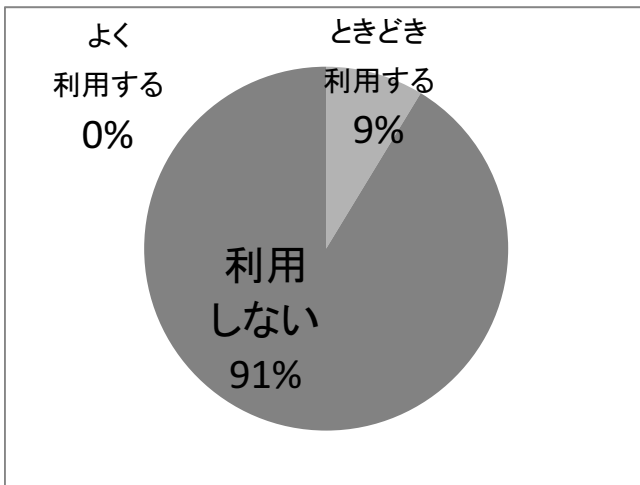
よくある	6
ときどきある	8
ない	9

問12 携帯電話やスマートフォンを持っていますか？



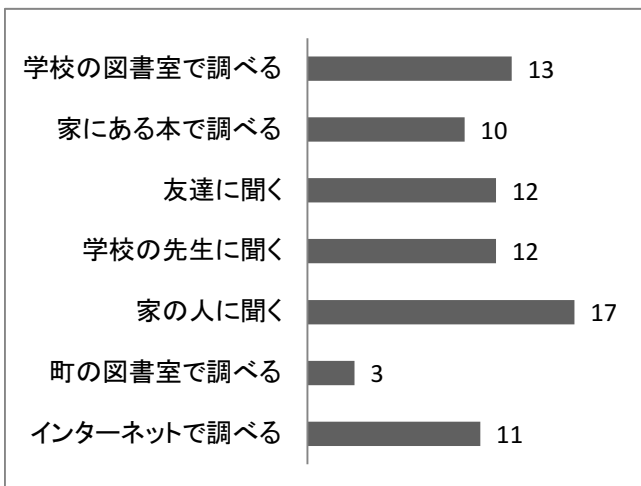
携帯電話を持っている	3
スマートフォンを持っている	1
持っていない	19

問13 電子書籍を利用しますか？



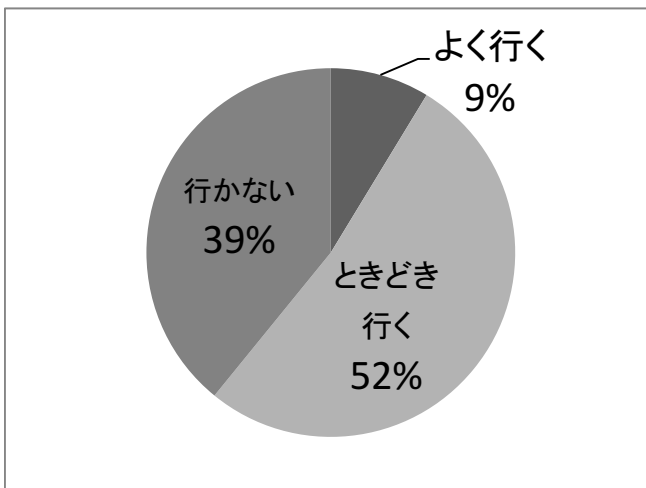
よく利用する	0
ときどき利用する	2
利用しない	21

問14 知りたいことがあるとき、どのように調べますか？（いくつでも）



学校の図書室で調べる	13
家にある本で調べる	10
友達に聞く	12
学校の先生に聞く	12
家の人に聞く	17
町の図書室で調べる	3
インターネットで調べる	11

問15 町の図書室へ行きますか？

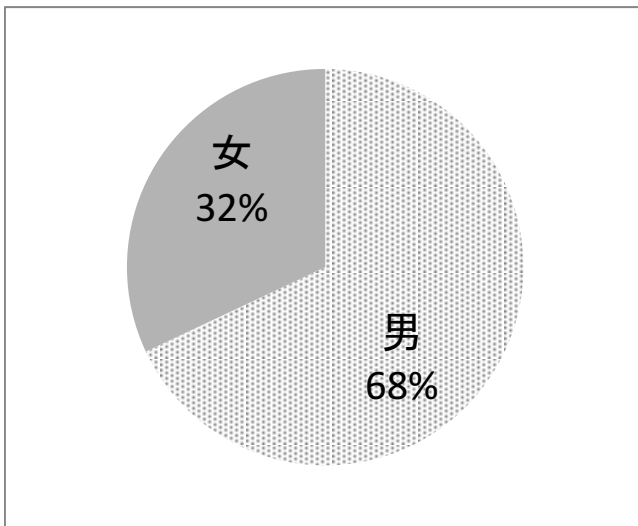


よく行く	2
ときどき行く	12
行かない	9

問16 図書室にあると良いと思うものは何ですか？（自由に書いてください）
記載なし

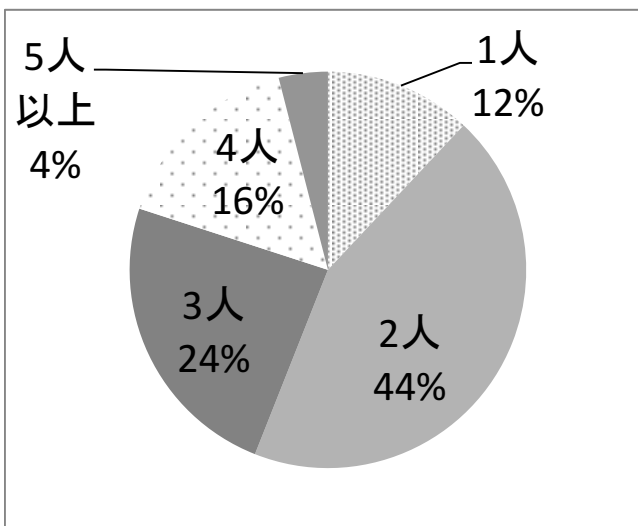
仁木町「読書アンケート調査」集計結果 <小学校5年生>

問1 あなたの性別は？



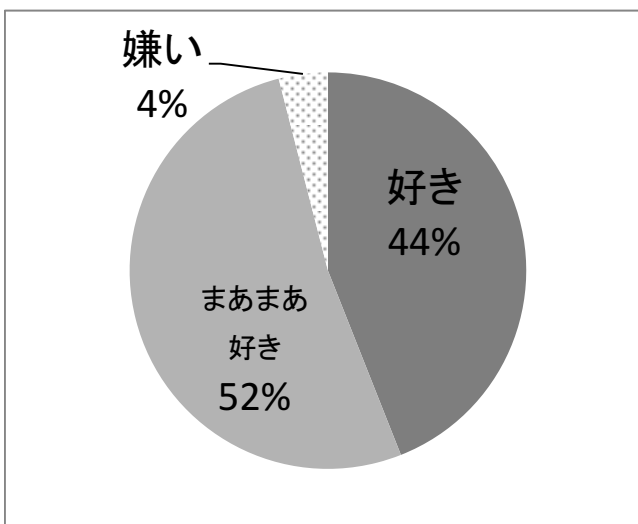
男	17
女	8

問2 あなたは何人きょうだいですか？



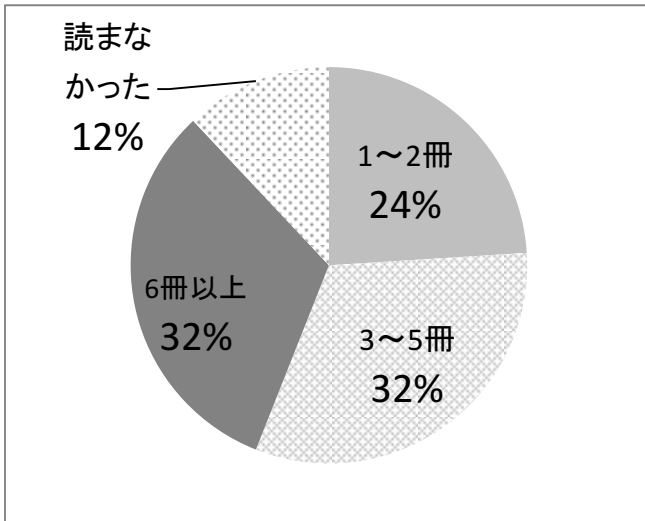
1人	3
2人	11
3人	6
4人	4
5人以上	1

問3 あなたは本を読むのが好きですか？



好き	11
まあまあ好き	13
嫌い	1

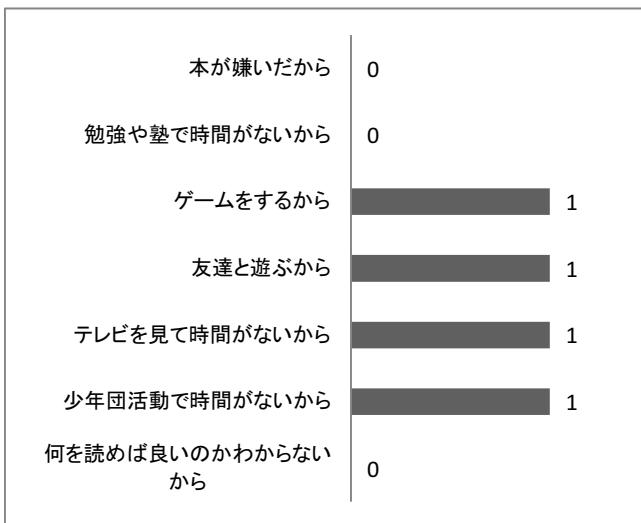
問4 この1か月で何冊くらい本（教科書、マンガ、雑誌以外）を読みましたか？



1冊～2冊	6
3冊～5冊	8
6冊以上	8
読まなかった	3

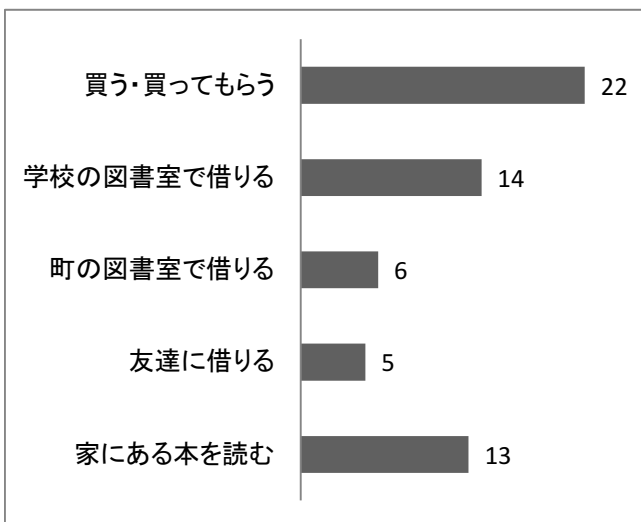
問5 問4で「読まなかった」と答えた人だけにお聞きします。

読まなかったのはなぜですか？（いくつでも）



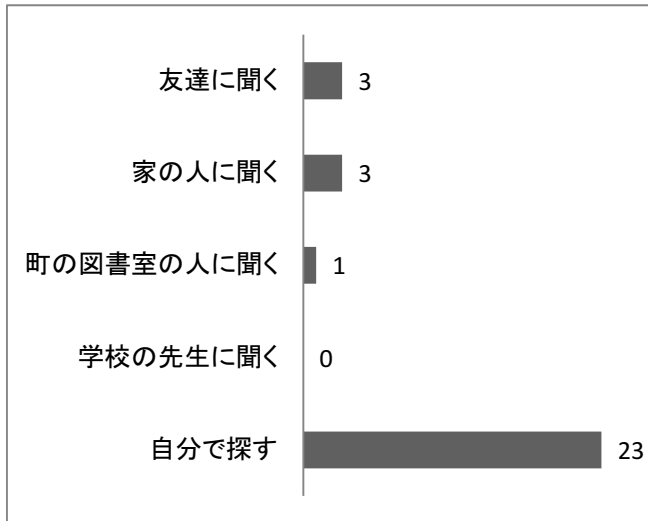
本が嫌いだから	0
勉強や塾で時間がないから	0
ゲームをするから	1
友達と遊ぶから	1
テレビを見て時間がないから	1
少年団活動で時間がないから	1
何を読めば良いのかわからないから	0

問6 読みたい本はどのように手に入れますか？（いくつでも）



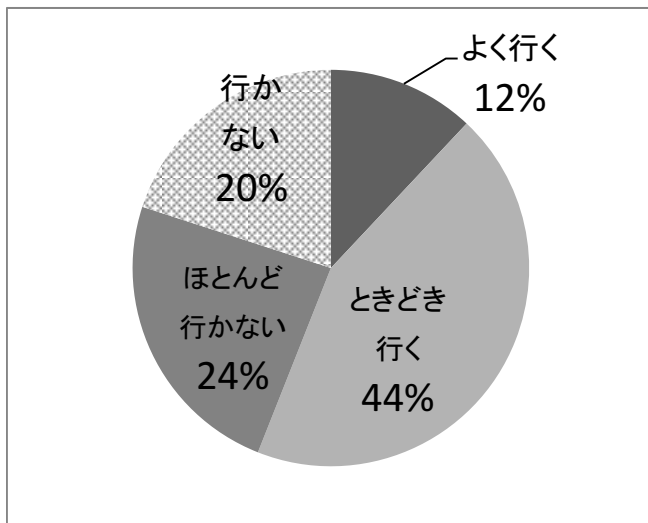
買う・買ってもらう	22
学校の図書室で借りる	14
町の図書室で借りる	6
友達に借りる	5
家にある本を読む	13

問7 読みたい本をどのように見つけますか？（いくつでも）



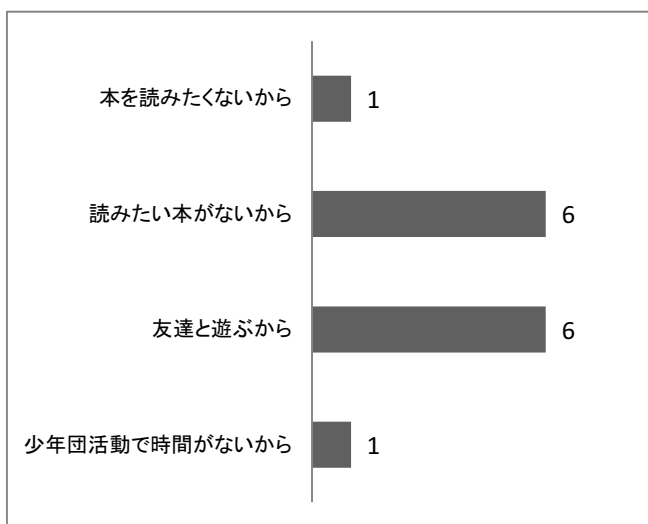
友達に聞く	3
家の人に聞く	3
町の図書室の人に聞く	1
学校の先生に聞く	0
自分で探す	23

問8 休み時間や放課後に学校の図書室へ行きますか？



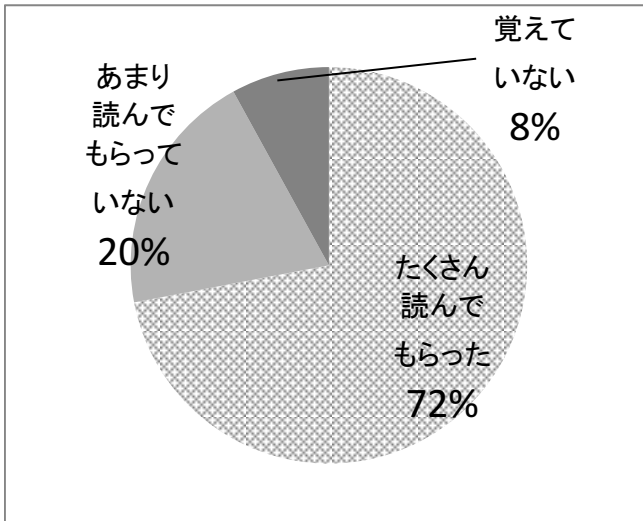
よく行く	3
ときどき行く	11
ほとんど行かない	6
行かない	5

問9 問8で「ほとんど行かない」「行かない」と答えた人にだけお聞きします。学校の図書室へ行かないのはなぜですか？（いくつでも）



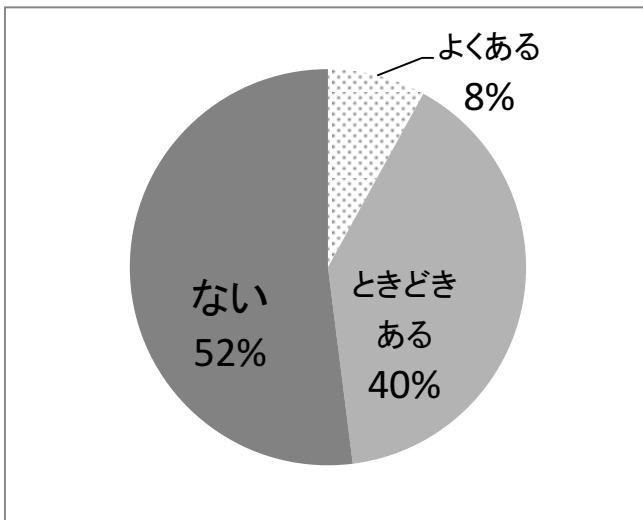
本を読みたくないから	1
読みたい本がないから	6
友達と遊ぶから	6
少年団活動で時間がないから	1

問10 絵本の読み聞かせなどをしてもらったことはありますか？



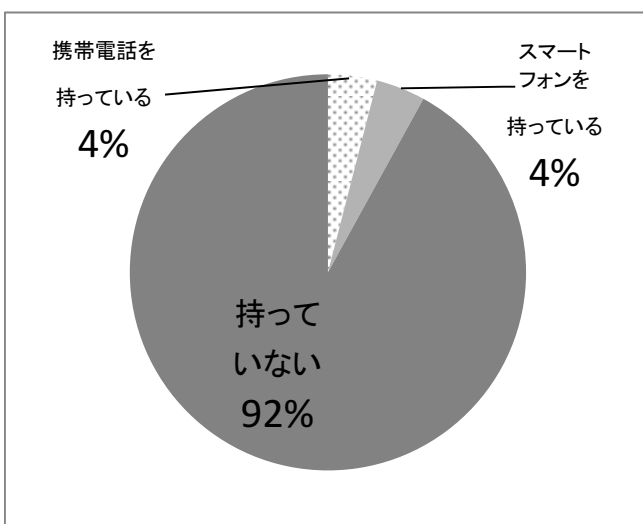
たくさん読んでもらった	18
あまり読んでもらっていない	5
覚えていない	2

問11 家で本について話題になることはありますか？



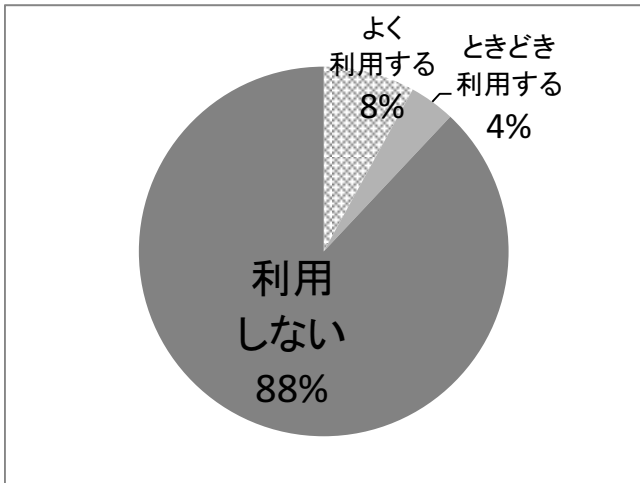
よくある	2
ときどきある	10
ない	13

問12 携帯電話やスマートフォンを持っていますか？



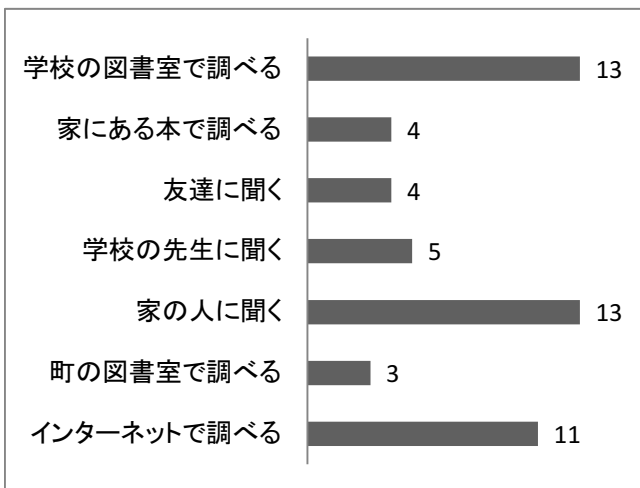
携帯電話を持っている	1
スマートフォンを持っている	1
持っていない	23

問13 電子書籍を利用しますか？



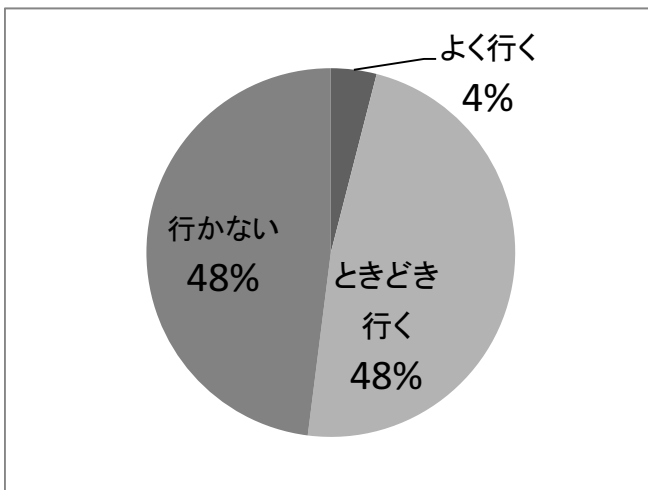
よく利用する	2
ときどき利用する	1
利用しない	22

問14 知りたいことがあるとき、どのように調べますか？（いくつでも）



学校の図書室で調べる	13
家にある本で調べる	4
友達に聞く	4
学校の先生に聞く	5
家の人に聞く	13
町の図書室で調べる	3
インターネットで調べる	11

問15 町の図書室へ行きますか？

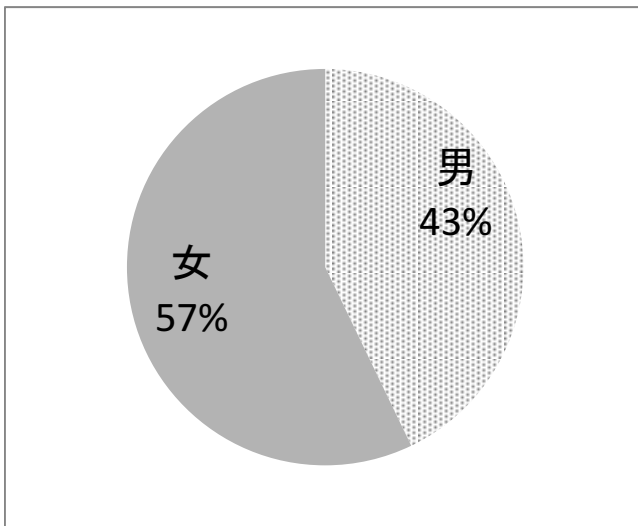


よく行く	1
ときどき行く	12
行かない	12

問16 図書室にあると良いと思うものは何ですか？（自由に書いてください）
記載なし

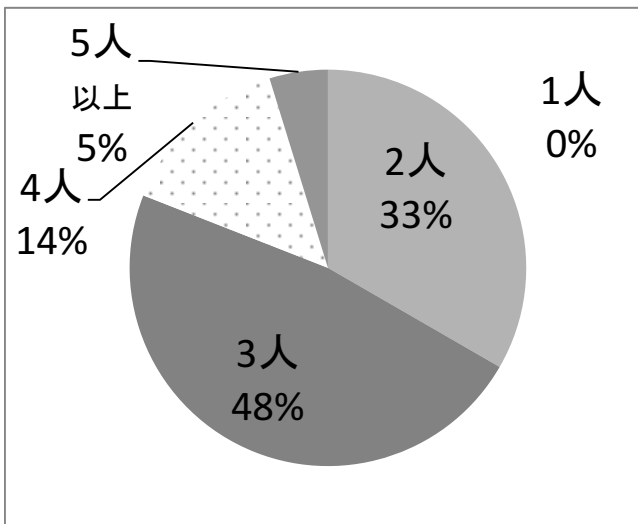
仁木町「読書アンケート調査」集計結果 <中学校2年生>

問1 あなたの性別は？



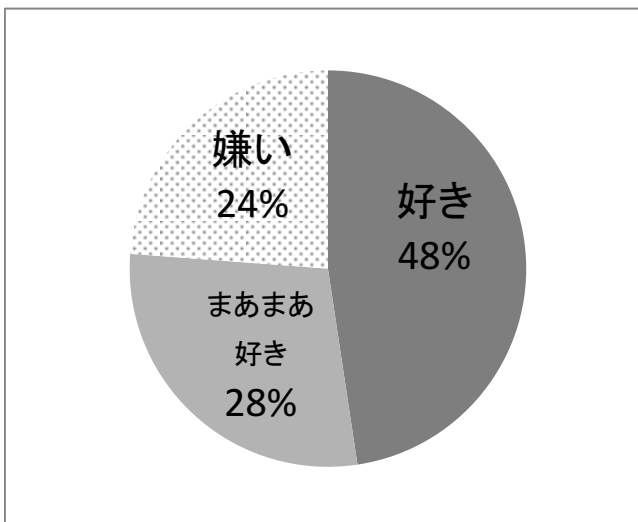
男	9
女	12

問2 あなたは何人きょうだいですか？



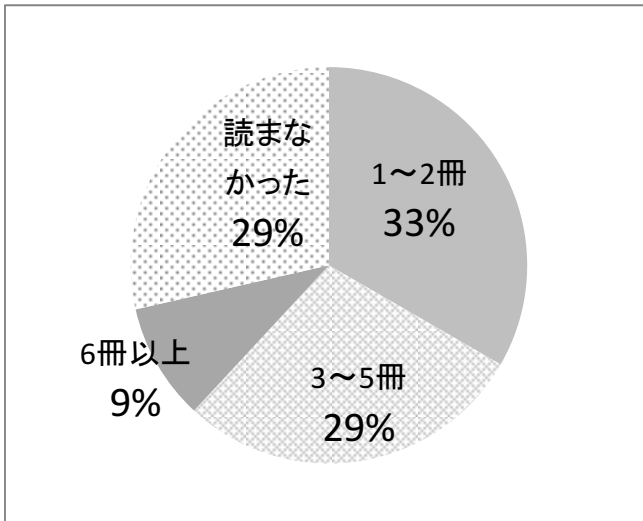
1人	0
2人	7
3人	10
4人	3
5人以上	1

問3 あなたは本を読むのが好きですか？



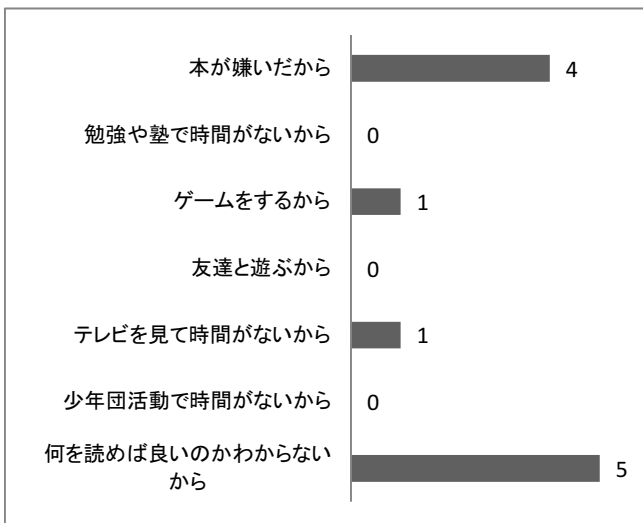
好き	10
まあまあ好き	6
嫌い	5

問4 この1か月で何冊くらい本（教科書、マンガ、雑誌以外）を読みましたか？



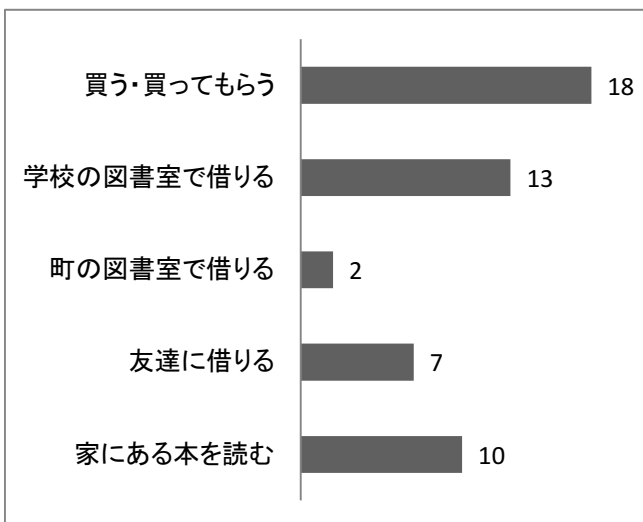
1冊～2冊	7
3冊～5冊	6
6冊以上	2
読まなかった	6

問5 問4で「読まなかった」と答えた人だけにお聞きします。
読まなかったのはなぜですか？（いくつでも）



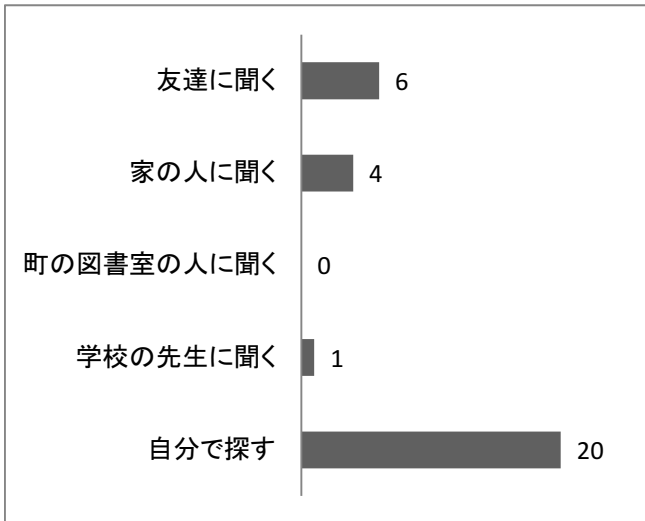
本が嫌いだから	4
勉強や塾で時間がないから	0
ゲームをするから	1
友達と遊ぶから	0
テレビを見て時間がないから	1
少年団活動で時間がないから	0
何を読めば良いのかわからないから	5

問6 読みたい本はどのように手に入れますか？（いくつでも）



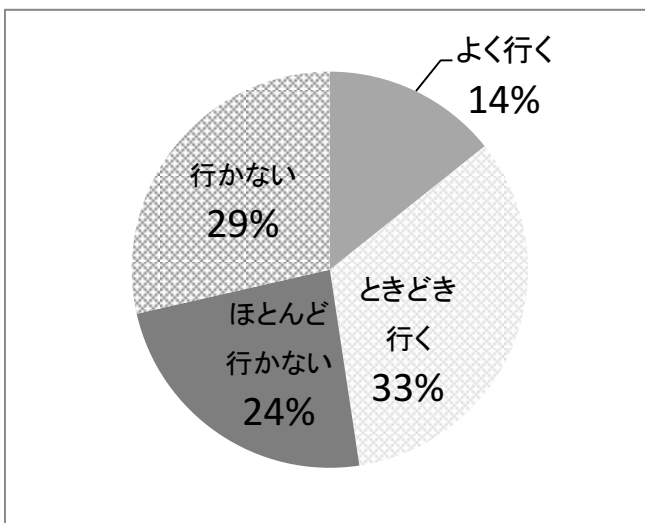
買う・買ってもらう	18
学校の図書室で借りる	13
町の図書室で借りる	2
友達に借りる	7
家にある本を読む	10

問7 読みたい本をどのように見つけますか？（いくつでも）



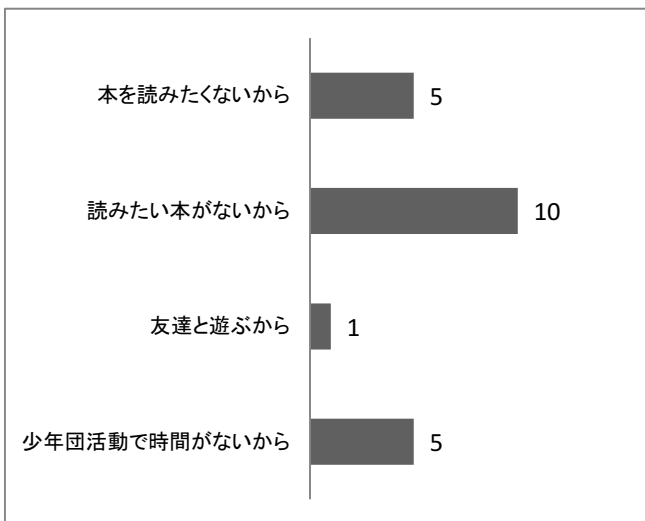
友達に聞く	6
家の人に聞く	4
町の図書室の人に聞く	0
学校の先生に聞く	1
自分で探す	20

問8 休み時間や放課後に学校の図書室へ行きますか？



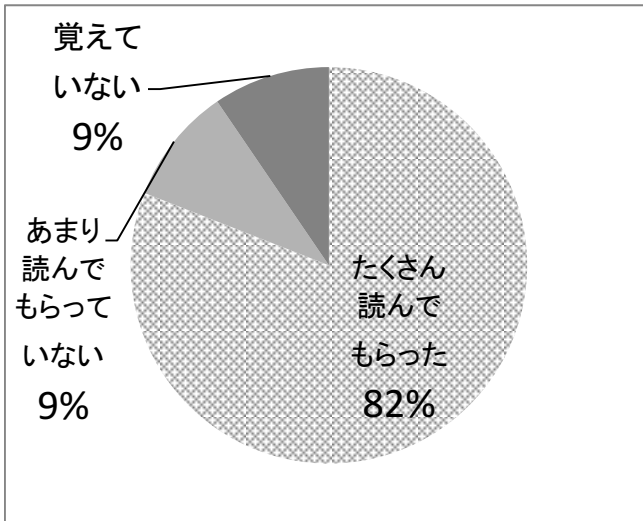
よく行く	3
ときどき行く	7
ほとんど行かない	5
行かない	6

問9 問8で「ほとんど行かない」「行かない」と答えた人にだけお聞きします。学校の図書室へ行かないのはなぜですか？（いくつでも）



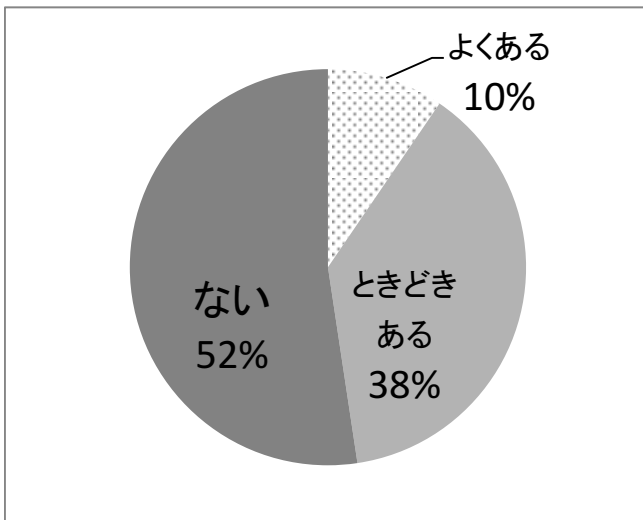
本を読みたくないから	5
読みたい本がないから	10
友達と遊ぶから	1
少年団活動で時間がないから	5

問10 絵本の読み聞かせなどをしてもらったことはありますか？



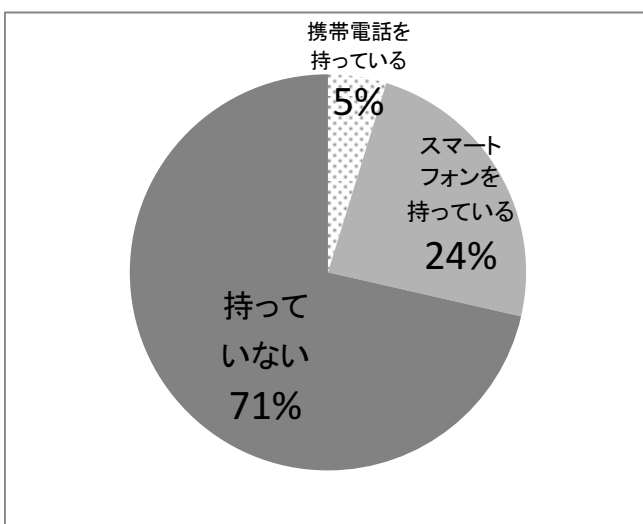
たくさん読んでもらった	17
あまり読んでもらっていない	2
覚えていない	2

問11 家で本について話題になることはありますか？



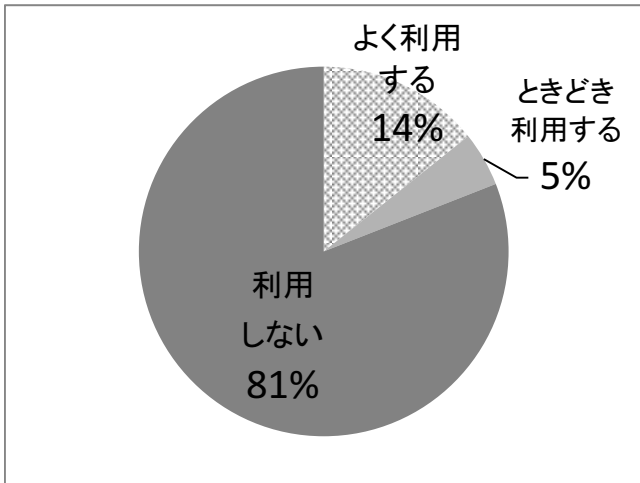
よくある	2
ときどきある	8
ない	11

問12 携帯電話やスマートフォンを持っていますか？



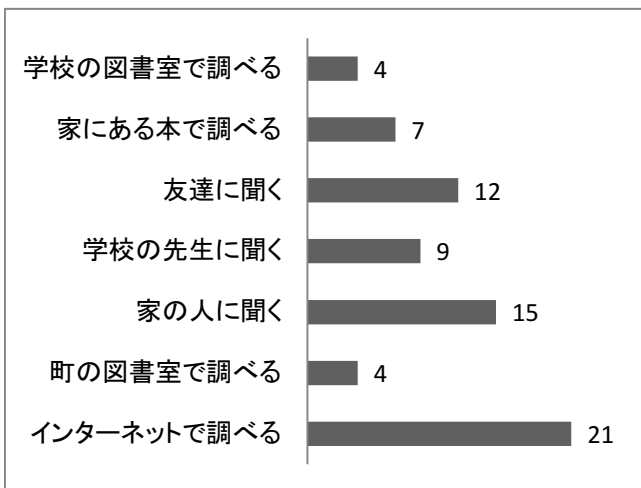
携帯電話を持っている	1
スマートフォンを持っている	5
持っていない	15

問13 電子書籍を利用しますか？



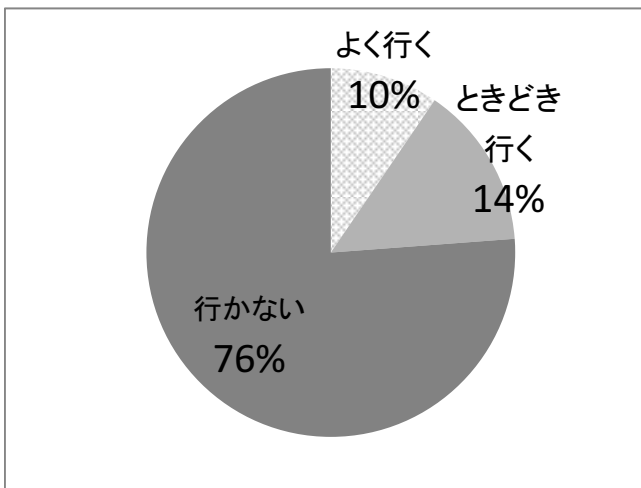
よく利用する	3
ときどき利用する	1
利用しない	17

問14 知りたいことがあるとき、どのように調べますか？（いくつでも）



学校の図書室で調べる	4
家にある本で調べる	7
友達に聞く	12
学校の先生に聞く	9
家の人に聞く	15
町の図書室で調べる	4
インターネットで調べる	21

問15 町の図書室へ行きますか？

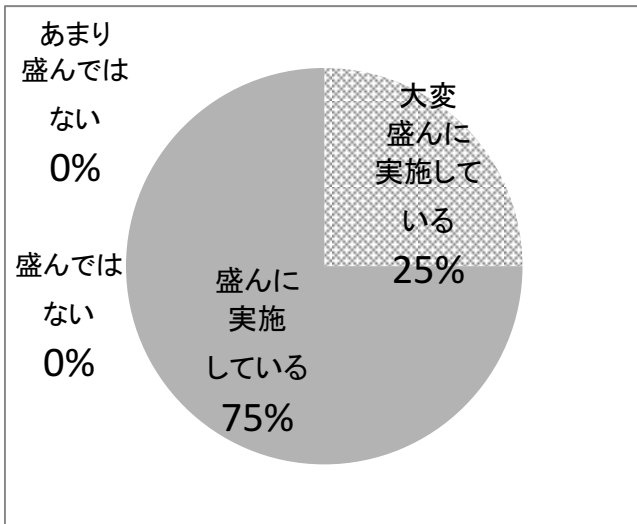


よく行く	2
ときどき行く	3
行かない	16

問16 図書室にあると良いと思うものは何ですか？（自由に書いてください）
記載なし

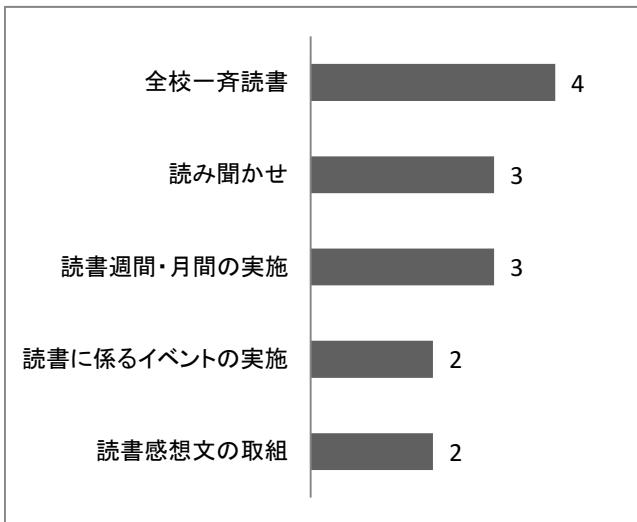
仁木町「読書アンケート調査」集計結果 <学校>

問1 学校では、読書活動を盛んに実施していますか？



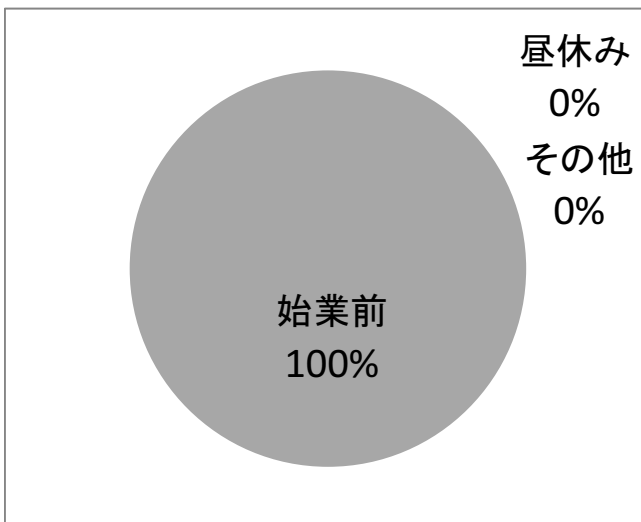
大変盛んに実施している	1
盛んに実施している	3
あまり盛んではない	0
盛んではない	0

問2 学校では、どのような読書活動を実施していますか？（いくつでも）



全校一斉読書	4
読み聞かせ	3
読書週間・月間の実施	3
読書に係るイベントの実施	2
読書感想文の取組	2

問3 問2で「全校一斉読書」と回答した学校にお聞きします。



始業前	4
昼休み	0
その他	0

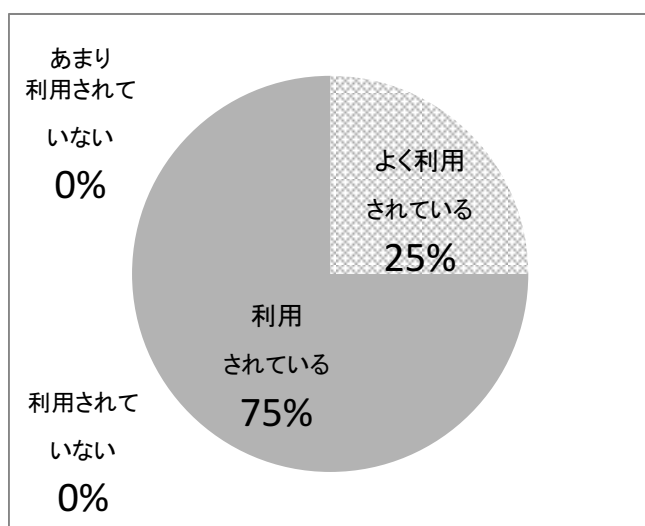
問4 問2で「全校一斉読書」と回答しなかった学校にお聞きします。

全校一斉読書を実施していない理由は何ですか？

該当なし

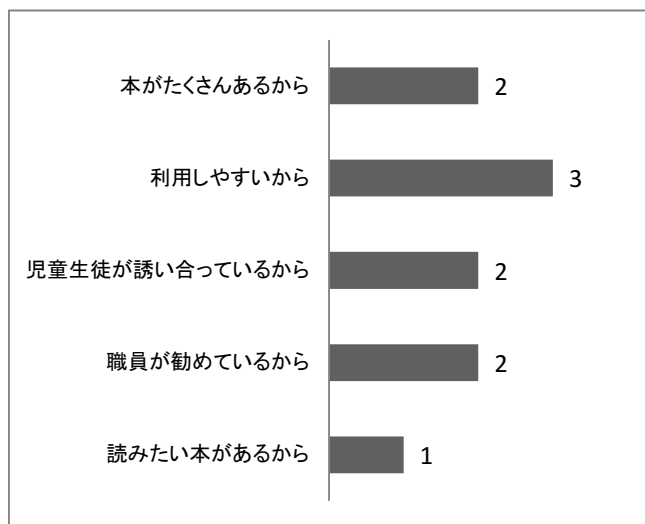
時間が確保できないから	0
必要がないから	0
その他	0

問5 学校の図書室はよく利用されていますか？



よく利用されている	1
利用されている	3
あまり利用されていない	0
利用されていない	0

問6 問5で「よく利用されている」「利用されている」と回答した学校にお聞きします。利用されている理由は何だと思えますか？（いくつでも）



本がたくさんあるから	2
利用しやすいから	3
児童生徒が誘い合っているから	2
職員が勧めているから	2
読みたい本があるから	1

問7 問5で「あまり利用されていない」「利用されていない」と回答した学校にお聞きします。

利用されていない理由は何だと思えますか？（いくつでも）

該当なし

問8 学校図書室の利用を増やすために取り組んでいることがあれば書いてください。

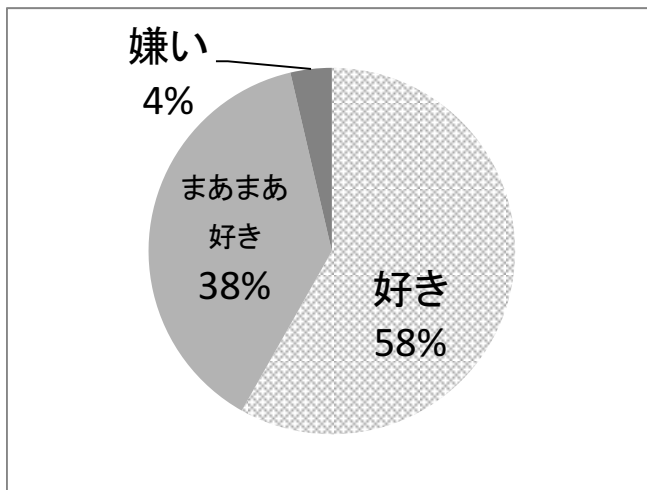
- ◆ 図書紹介コーナーの設置
- ◆ 児童による委員会活動の実施
- ◆ 授業における図書の活用
- ◆ 読書旬間の実施（毎年11月初旬から中旬の1週間程度・毎朝の読書・先生による読み聞かせ・先生のおすすめ本の紹介）
- ◆ 児童会の図書委員会が休み時間に図書室の利用を全校放送で呼びかけている。
- ◆ 10月下旬から11月上旬に実施している読書週間では、図書利用や読書の奨励を行い、児童会の図書委員による読み聞かせの活動をしている。
- ◆ 11月下旬に北海道立図書館、仁木町教育委員会、地域の読み聞かせボランティア団体の協力のもとブックフェスティバル事業を開催し、読書への関心を高め、図書利用の促進を図る機会を設定している。
- ◆ 学校図書の購入希望をまとめる際に、生徒に読みたい本のアンケートを実施している。
- ◆ 生徒会の委員会活動で本の紹介をし、呼びかけている。
- ◆ 図書室がオープンスペースとなっており、いつでも借りられるようになっている。
- ◆ 図書日よりおすすめ本の紹介をし、その本を展示している。

問9 読書に関する要望があれば書いてください。

- ◆ 購入希望図書を予算内で自由に購入できるシステムにしてほしい。
- ◆ 各校蔵書のデータ化。それらと仁木町民センター・図書室のデータをネットワーク化し、どこの本でも借りられるシステムにすると、読みたい本が手軽に見つかるようになる。町民が各校の本を借りるということも可能になる。
- ◆ 図書室を調べ学習に活用するということを考えるのであれば、現在の蔵書は古すぎて活用が難しい。定期的買い替えるのであれば、購入予算が少ない。ネットワーク化することで少しは改善されるが、全町的に調べ学習に役立つ本の充実が求められる。

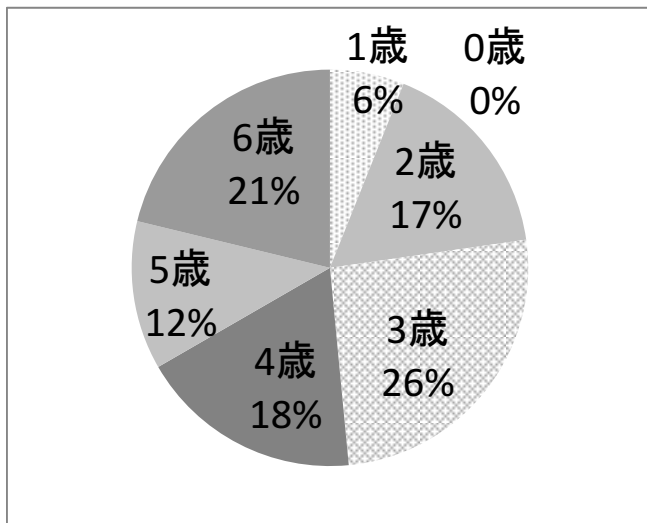
仁木町「読書アンケート調査」集計結果 <保育所（園）保護者>

問1 あなたは本が好きですか？



好き	32
まあまあ好き	21
嫌い	2

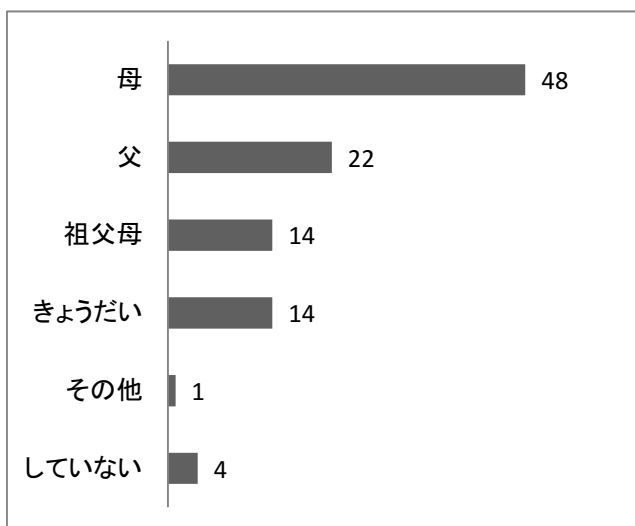
問2 保育所・保育園に通っているお子さんは何歳ですか？



0歳	0
1歳	4
2歳	11
3歳	17
4歳	12
5歳	8
6歳	14

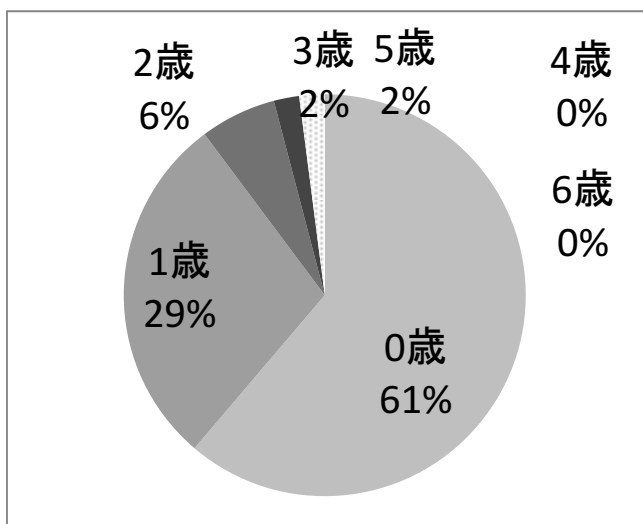
問3 お子さんに絵本などの読み聞かせをしていますか？

また、読むのは主にどなたですか？（いくつでも）



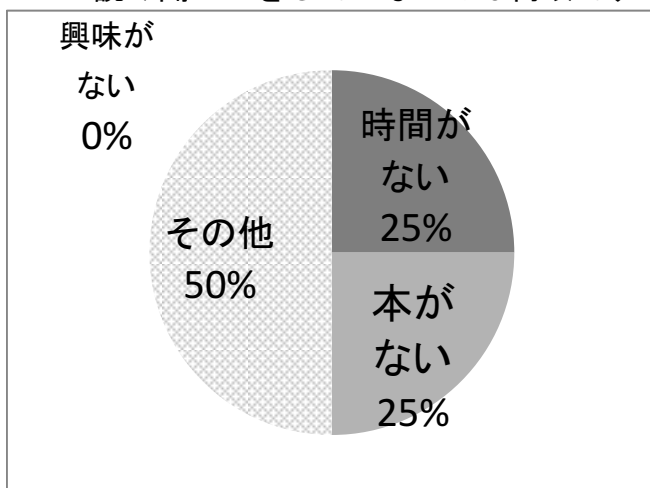
母	48
父	22
祖父母	14
きょうだい	14
その他	1
していない	4

問4 問3で読み聞かせをしていると回答した方にお聞きします。
 お子さんが何歳の頃から読み聞かせをしていますか？



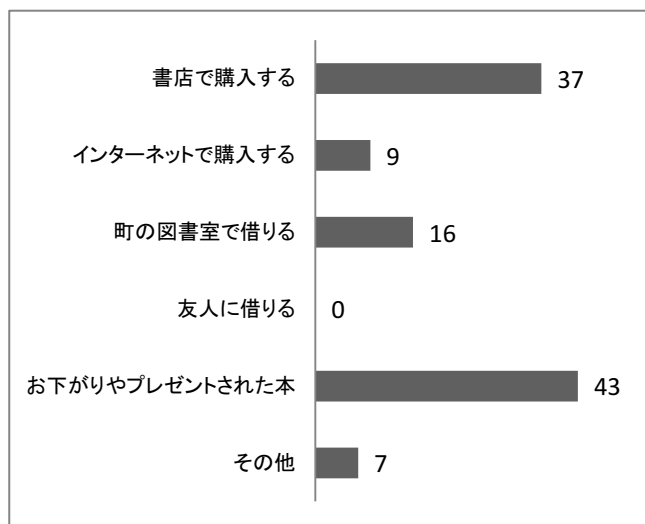
0歳	30
1歳	14
2歳	3
3歳	1
4歳	0
5歳	1
6歳	0

問5 問3で読み聞かせをしていないと回答した方にお聞きします。
 読み聞かせをしていないのは何故ですか？



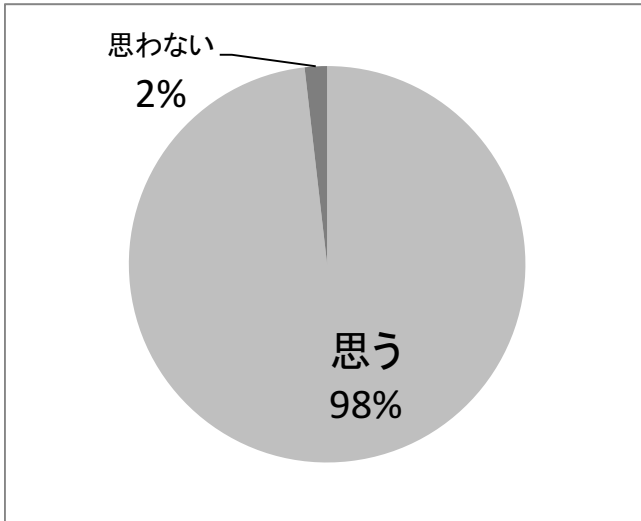
時間がない	1
本がない	1
興味が ない	0
その他	2

問6 読み聞かせる本はどのように入手していますか？（いくつでも）



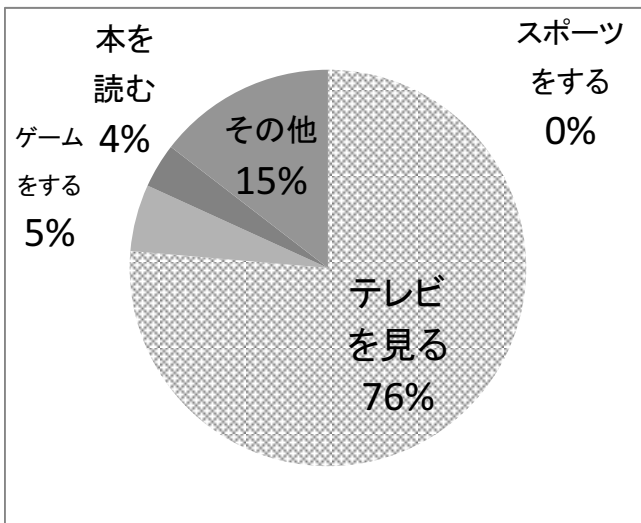
書店で購入する	37
インターネットで購入する	9
町の図書室で借りる	16
友人に借りる	0
お下がりがりやプレゼントされた本	43
その他	7

問7 幼い頃から本に親しむことは大切なことだと思いますか？



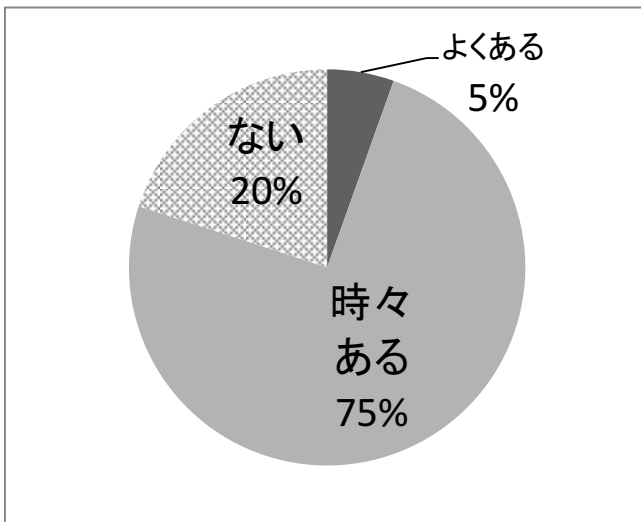
思う	54
思わない	1

問8 夕食後に家族で過ごす時間のうち、1番多いのはどれですか？



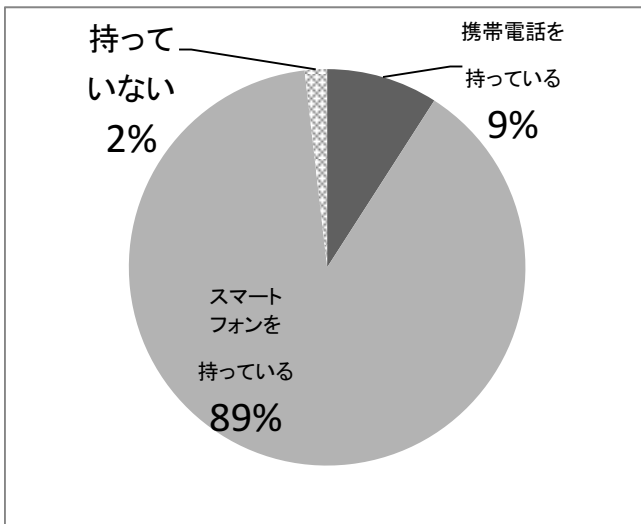
テレビを見る	42
ゲームをする	3
本を読む	2
スポーツをする	0
その他	8

問9 家族で本について話題になることはありますか？



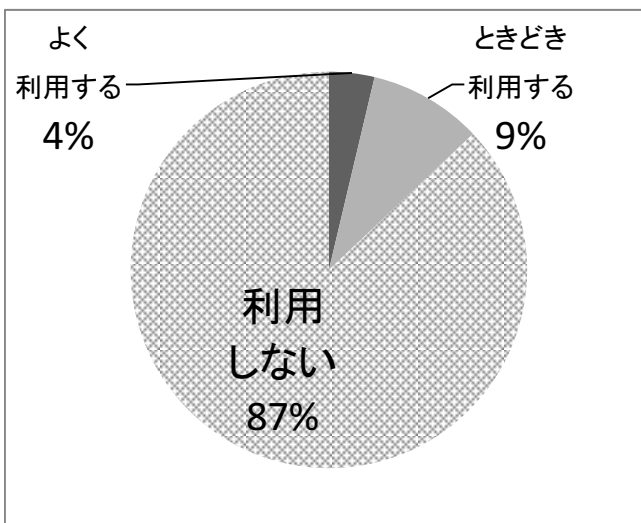
よくある	3
時々ある	41
ない	11

問10 携帯電話やスマートフォンを持っていますか？



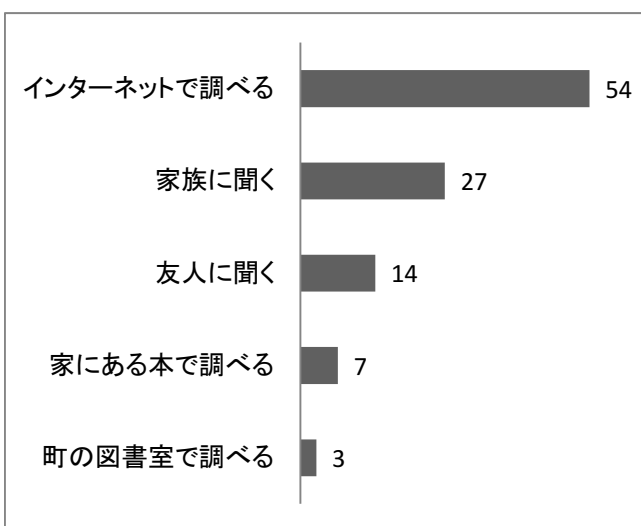
携帯電話を持っている	5
スマートフォンを持っている	49
持っていない	1

問11 電子書籍を利用しますか？



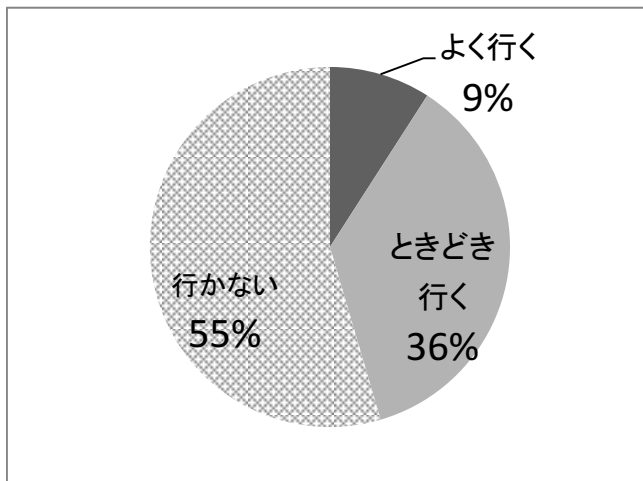
よく利用する	2
ときどき利用する	5
利用しない	47

問12 知りたいことがあるとき、どのように調べますか？（いくつでも）



インターネットで調べる	54
家族に聞く	27
友人に聞く	14
家にある本で調べる	7
町の図書室で調べる	3

問13 町の図書室へ行きますか？



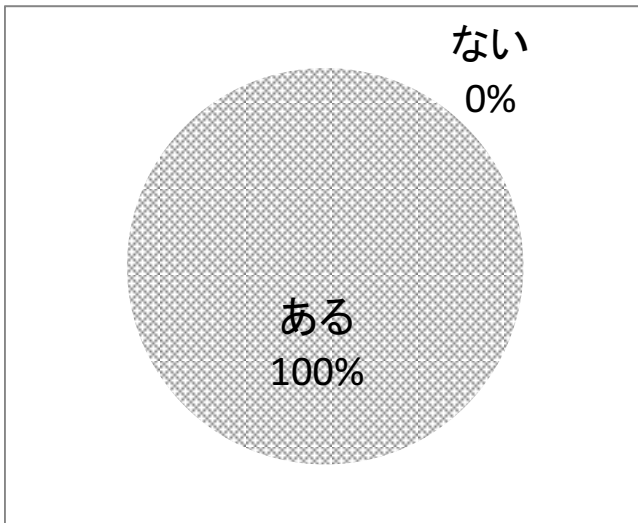
よく行く	5
ときどき行く	20
行かない	30

問14 図書室にあると良いと思うものは何ですか？（自由に書いてください）

- ◆ 雑誌（住宅、旅行、園芸など）
- ◆ 子どもが声を出しても迷惑にならない子ども用のスペース
- ◆ 図書室で本を読むと集中できるので、子どもにはとても大切だと思う。
- ◆ 図書室で本を借りたいが、子どもが汚してしまうかもしれないので借りにくい。
- ◆ 各検定の過去問題集や参考書などがあると良い。
- ◆ 子どもと大人と一緒に楽しく学べる本
- ◆ 雑誌コーナー・実験室・プラネタリウム
- ◆ 小～高校生向けのライトノベル
- ◆ 手芸や料理、インテリアなど女性の趣味の分野の本
- ◆ 学習のための小学生でも扱えるパソコンやタブレット端末
- ◆ 図書室で気に入った本を取り寄せて買えると便利で良い。
- ◆ 乳幼児が座って本を読めるスペースが広いと良い。
- ◆ 他の図書館では貸出していない図鑑が借りられるのはとてもうれしい。
- ◆ 今まで自分が借りた本の履歴がわかるシステム（読書量がわかり、本を借りる励みになる）
- ◆ 町のブックスタートでいただいた本が読み始めるきっかけとなった。
- ◆ ママコーナー（子育て、自己啓発、趣味）
- ◆ パパコーナー（親子あそび、自己啓発、旅行）
- ◆ 冬場に遊べる場所がないので、本を読んだり、借りる場所があれば良い。
- ◆ 学校や保育園などで本の返却ができると利用しやすい。
- ◆ 紙芝居などのイベント
- ◆ シリーズ物の絵本
- ◆ 配架書籍の一覧表
- ◆ 子どものおむつ替えスペース
- ◆ 知育玩具・キッズスペース・カフェスペース
- ◆ 親子開放日を作ったり、読み聞かせなどのイベントを設けると良い。

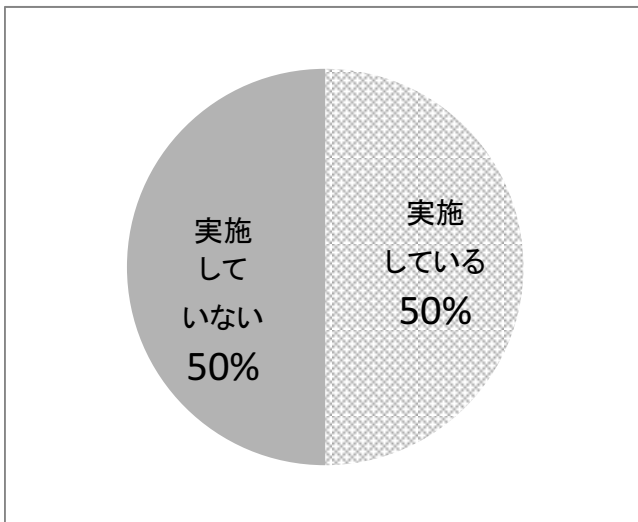
仁木町「読書アンケート調査」集計結果 < 保育所（園） >

問1 施設内に図書コーナーや本棚を備えた場所はありますか？



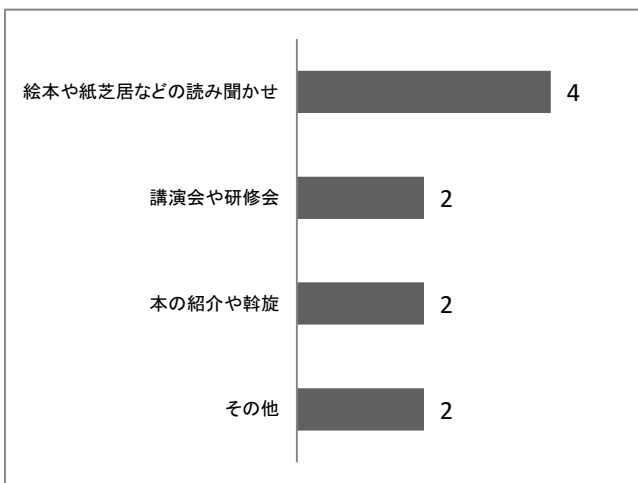
ある	4
ない	0

問2 問1で「ある」と回答した施設にお聞きします。
施設内の図書は保護者への貸し出しを実施していますか？



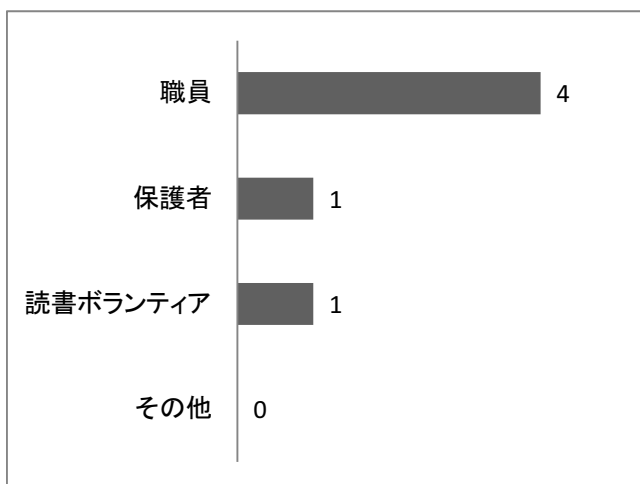
実施している	2
実施していない	2

問3 施設では、現在どのような読書活動を実施していますか？（いくつでも）



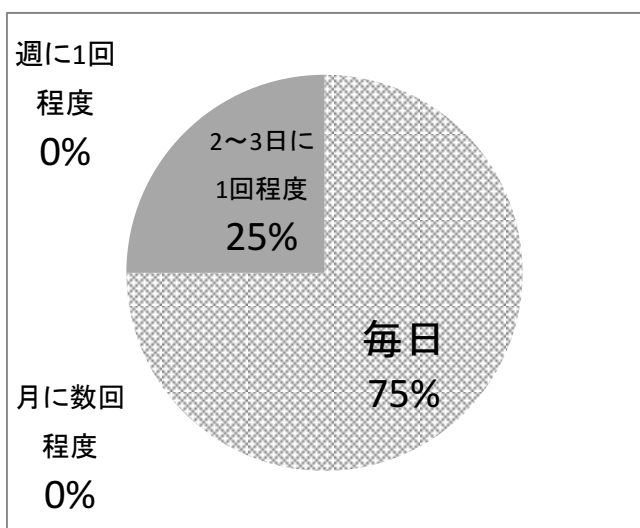
絵本や紙芝居などの読み聞かせ	4
講演会や研修会	2
本の紹介や斡旋	2
その他	2

問4 問3で「絵本や紙芝居などの読み聞かせ」を選択した施設にお聞きします。
読み聞かせはどなたが実施していますか？（いくつでも）



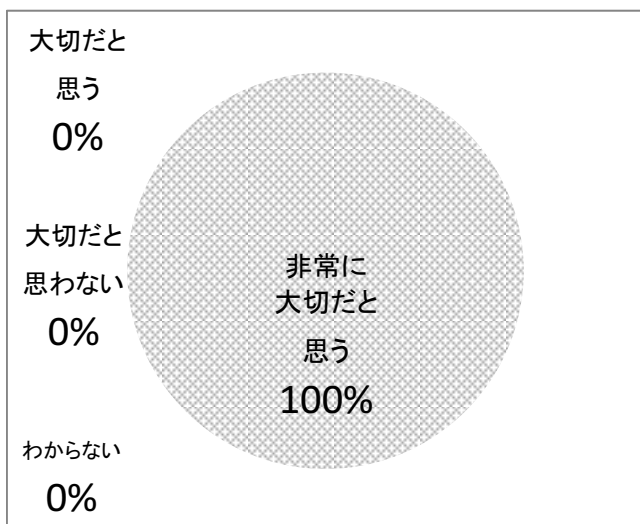
職員	4
保護者	1
読書ボランティア	1
その他	0

問5 問3で「絵本や紙芝居などの読み聞かせ」を選択した施設にお聞きします。
読み聞かせはどのくらいの頻度で実施していますか？



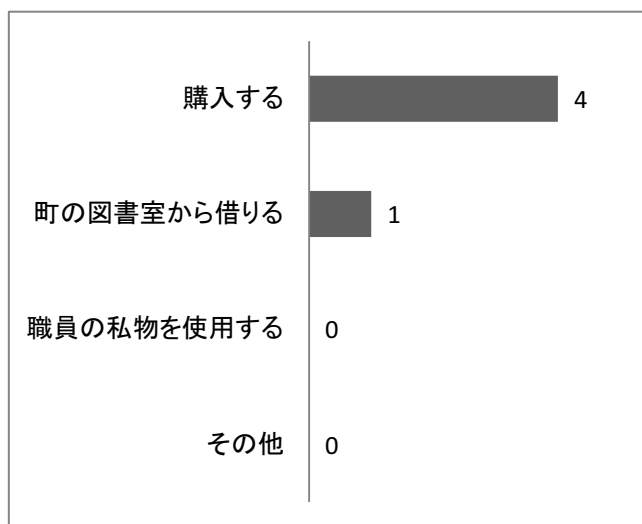
毎日	3
2~3日に1回程度	1
週に1回程度	0
月に数回程度	0

問6 読み聞かせをすることは大切なことだと思いますか？



非常に大切だと思う	4
大切だと思う	0
大切だと思わない	0
わからない	0

問7 読み聞かせに使用する本や紙芝居などは、どのように入手していますか？
(いくつでも)



購入する	4
町の図書室から借りる	1
職員の私物を使用する	0
その他	0

問9 読書に関する要望があれば書いてください。

- ◆ 時代に合った育児書や食育を楽しくできる本、歯みがきを楽しくできる本などがあると良い。

第63回学校読書調査概要

調査者 全国学校図書館協議会 毎日新聞社

調査時期 平成29年6月第1・2週

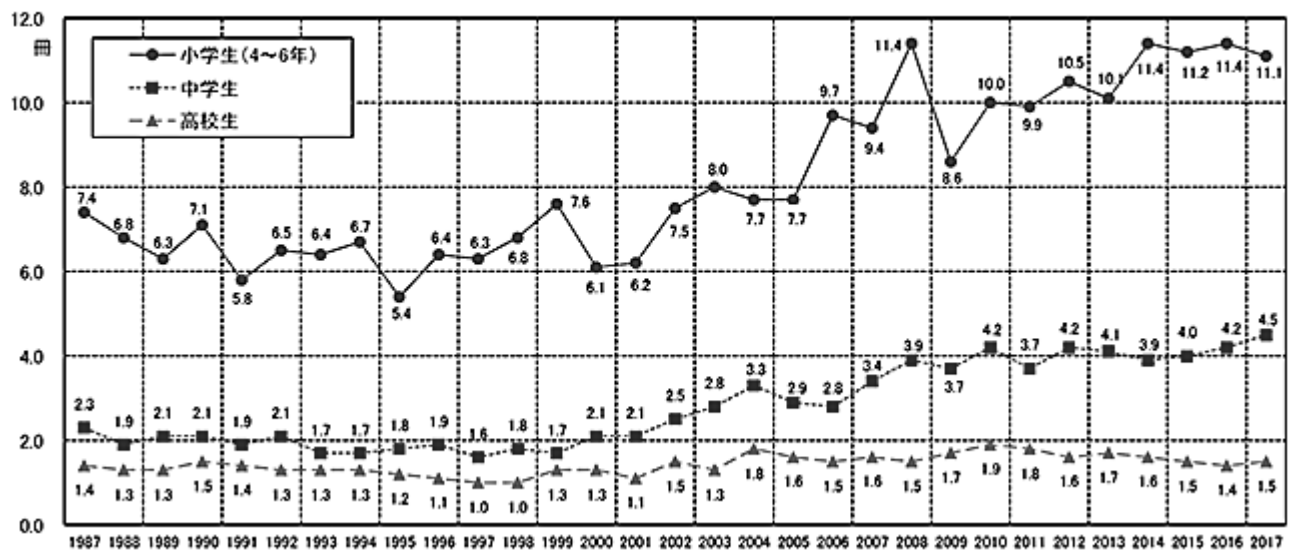
調査対象 抽出調査

小学生（4～6年生） 中学生（1～3年生） 高校生（1～3年生）

小学生 3,240人 中学生 3,070人 高校生 3,614人

平均読書冊数

過去31回分の5月1か月間の平均読書冊数の推移



不読者の数

過去31回分の不読者(0冊回答者)の推移

